

# STATS REPORT

WEリーグ スタッツレポート 2026.1

WEリーグ フットボール部  
協力：八反地 勇

世界一を目指すWEリーグの現状と今後の変化を客観的に把握し、  
ピッチ上のクオリティ向上につなげていくため

ファン・サポーターやメディア、パートナー等ステークホルダーの皆様に、  
新たな女子サッカーの楽しさを提供するため

データソースの説明

- Impect
- Skillcorner
- FIFA公式
- 気象庁 ClimatView

開催環境

- 比較対象国の気温、降水量
- 試合開催日における状況

成績・スコア傾向

- 成績分布・スコア・得点差
- ホームゲーム

試合サマリー傾向

- イベントデータ
  - APT, シュート, ボール奪取など
- フィジカルデータ
  - ハイインテンシティ、気温影響など

ビルドアップ周りの分析

- 攻撃全体のサマリー
- プレー選択と空中戦
- サイドへの展開とボールアウト

アウトプレー分析

- 各セットプレー前のアウト時間
- ファウル要因

フィニッシュワーク分析

- グループ別のサマリー
- オープン・セットプレー
- ペナルティエリア進入

ゲームスタイル分析

- クラスタリング
- 各リーグのゲームスタイル
- 分類別のフィジカルデータ

データ定義の説明

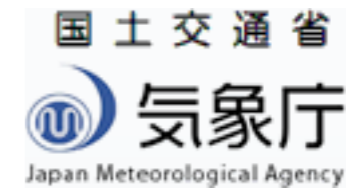
# データソースの説明



- ・ イベントデータを扱うプロバイダの1つ
- ・ 他社との大きな違いとして、相手の守備陣形に対してどの位置にいるか、どのライン、レーンを越えたかというデータを取得しており、2014年W杯後にサッカーメディアにて取り上げられたパッキングレートやインペクト指数といった指標を早期に取り扱った
- ・ 他、プレッシャーの度合いやパッキングを扱った期待値なども生成している
- ・ 試合によってはデータの完成がかなり遅い場合がある

## SKILLcorner

- ・ 中継映像から画像認識技術を利用しトラッキングデータを提供するプロバイダの1つ
- ・ 中継映像からデータ生成が可能なため、同一のデータ取得方法でリーグ、大会を超えたデータ比較が可能となる
- ・ 一方で元の中継映像のカメラワーク、スタジアム、天候の影響によりデータ精度が不安定になりやすい。WEリーグでは西が丘の試合のデータの多くが基準クオリティに達せずデータ提供外となっている（25/26のデータ取得率は高い）



- ・ 気象庁が公開している「世界の天候データツール（ClimatView）」。一日の平均気温や降水量を掲載している
- ・ 国によって地点の数が大きく異なる。日本以外の地点は1日の区切りを世界協定時(UTC)で計算している
- ・ 日によってはデータ未取得の場合あり



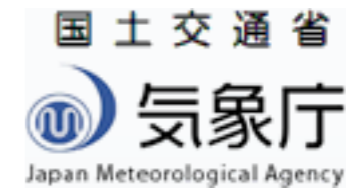
- ・ 日本 (24/25以降) 25年末最新まで
- ・ イングランド (24/25以降) 最新まで
- ・ フランス (24/25以降) 今季10節まで
- ・ ドイツ (24/25以降) 今季13節まで
- ・ スペイン (24/25以降) 今季12節まで
- ・ スウェーデン (25) 全試合
- ・ アメリカ (25) 全試合

※スウェーデン、アメリカの24の試合もあるがデータバージョンが異なるため今回は除外

※延長戦のデータは除外

## SKILLcorner

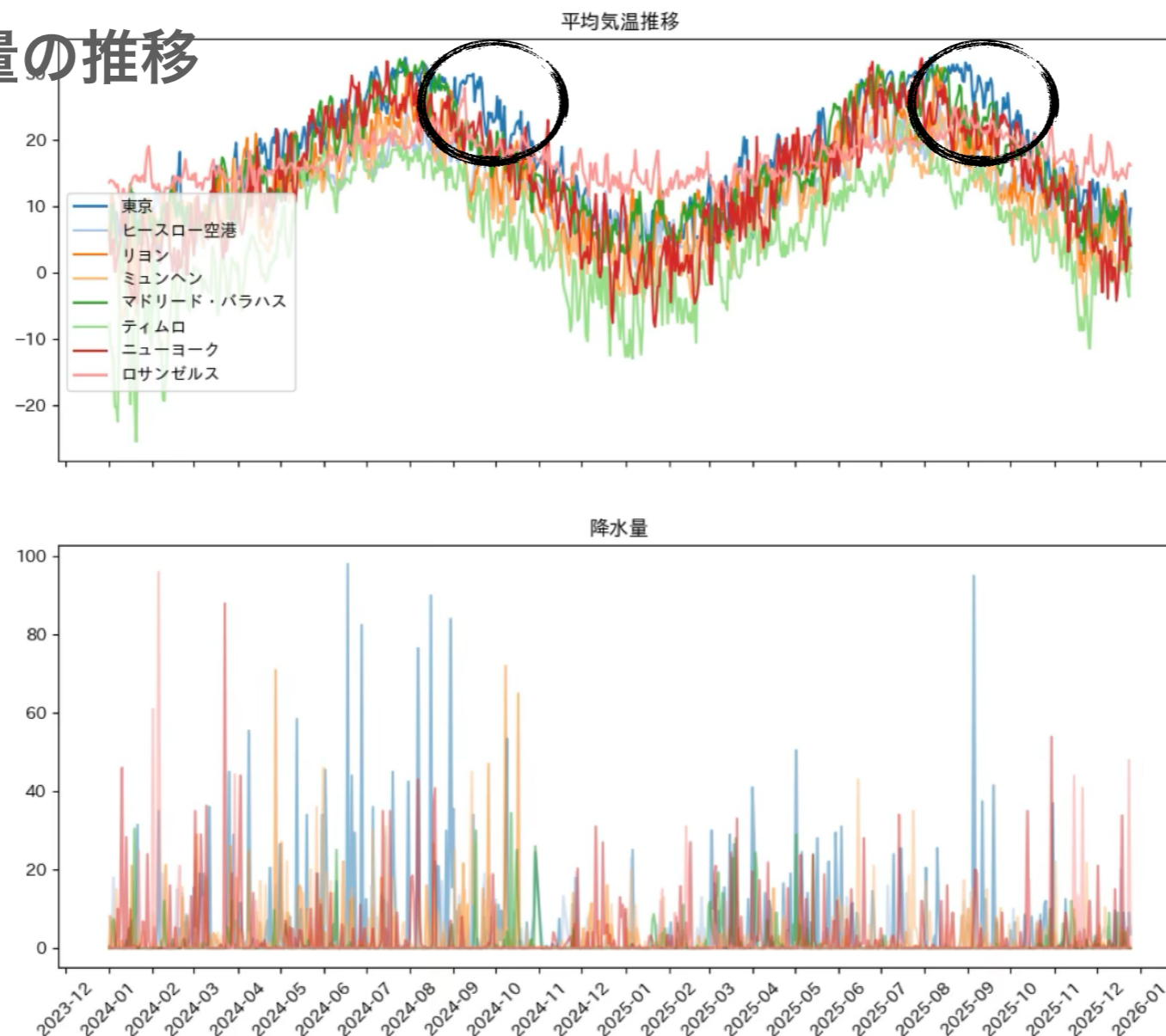
- ・ 日本 (24/25以降) 83%
- ・ イングランド (24/25以降) 85%
- ・ ドイツ (24/25以降) 90%
- ・ スペイン (24/25以降) 75%
- ・ スウェーデン (25) 87%
- ・ アメリカ (25) 98%
- ・ %表記は60分以上出場選手のクオリティチェック通過選手がいる試合割合（分析で使用可能なデータ量）
- ・ Impectとデータの結合を行なっているため、データの最新試合はImpectと同様になる



- ・ 左記の国を対象としているが、イングランドとスウェーデンは地点が少なく、且つスウェーデンは降水量データなし

# 開催環境

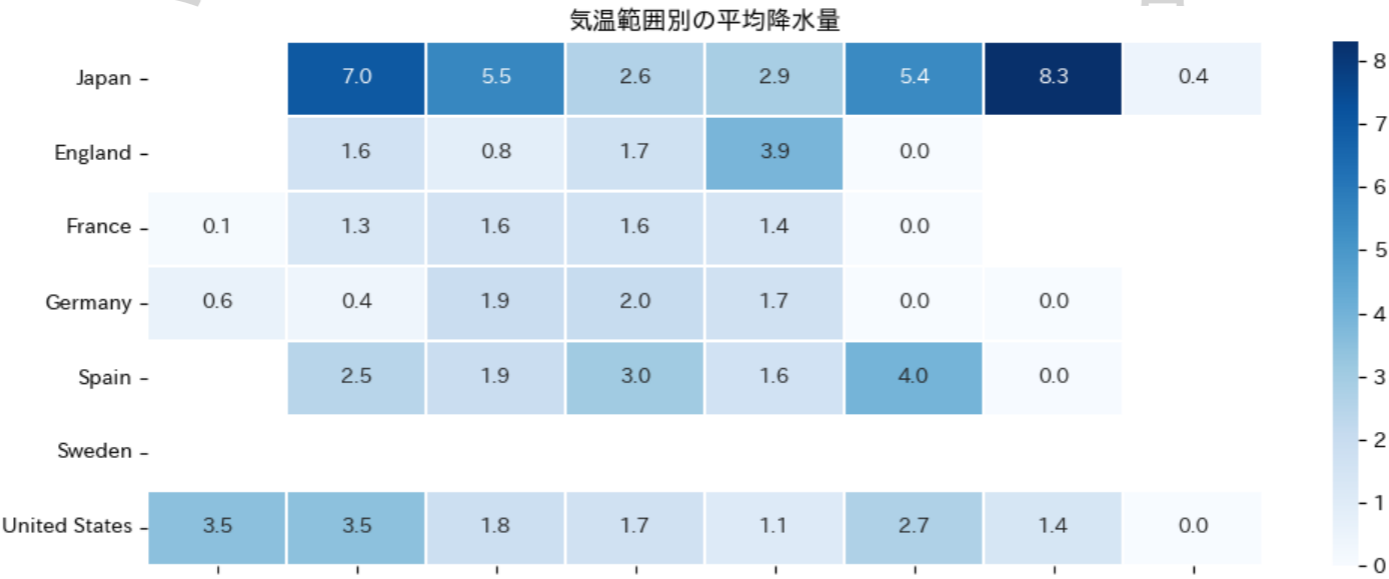
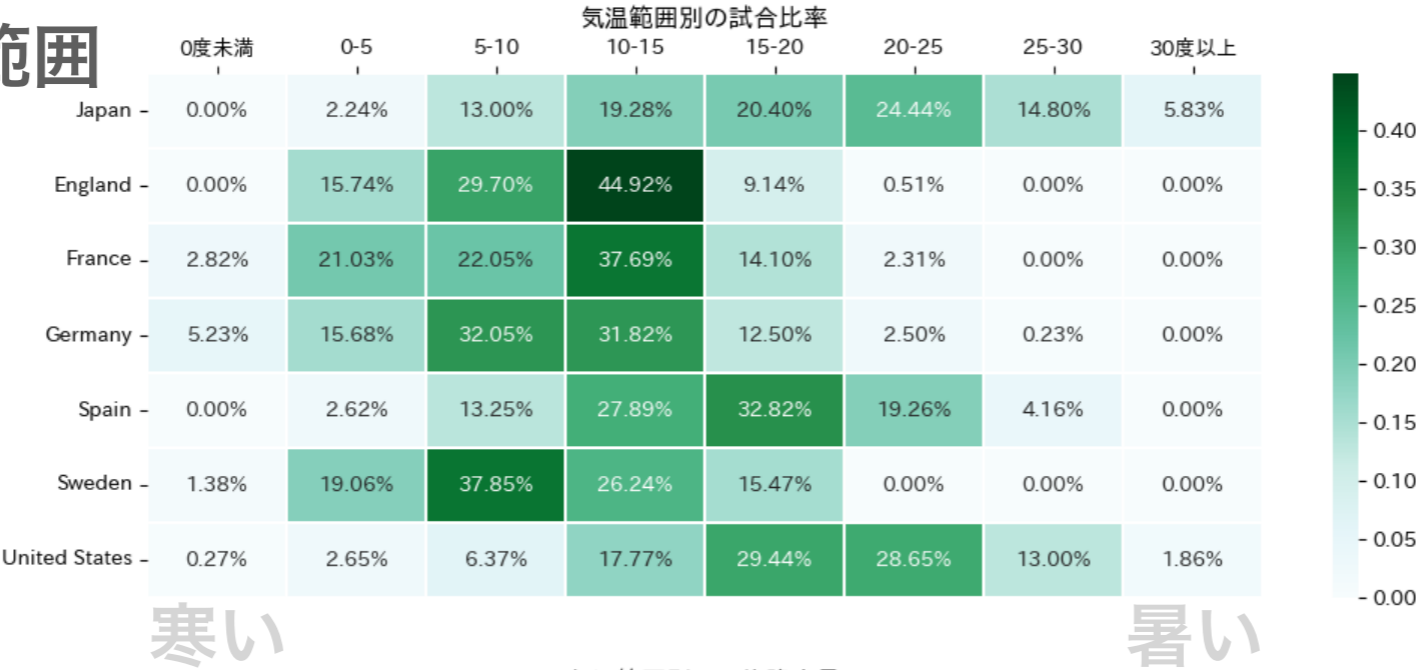
## 平均気温と降水量の推移



試合が行われる気候環境は、これから紹介する試合内容から生まれる各種データにも影響を及ぼす点である。このレポートにて比較対象となる国の代表地点の一日の平均気温の変化はグラフ上図の通りとなった。夏場の猛暑は世界的に起きているが、9月も暑さが残る傾向（黒丸枠）はこの中では日本特有の現象となっている。

一日の降水量変化では細かい地形の影響も受けるため代表地点だけでは分析する上で不足があるが、夏場に集中的な豪雨が増加している日本は蒸し暑い日が多いと言える。（スウェーデンはデータがなかったため除外）

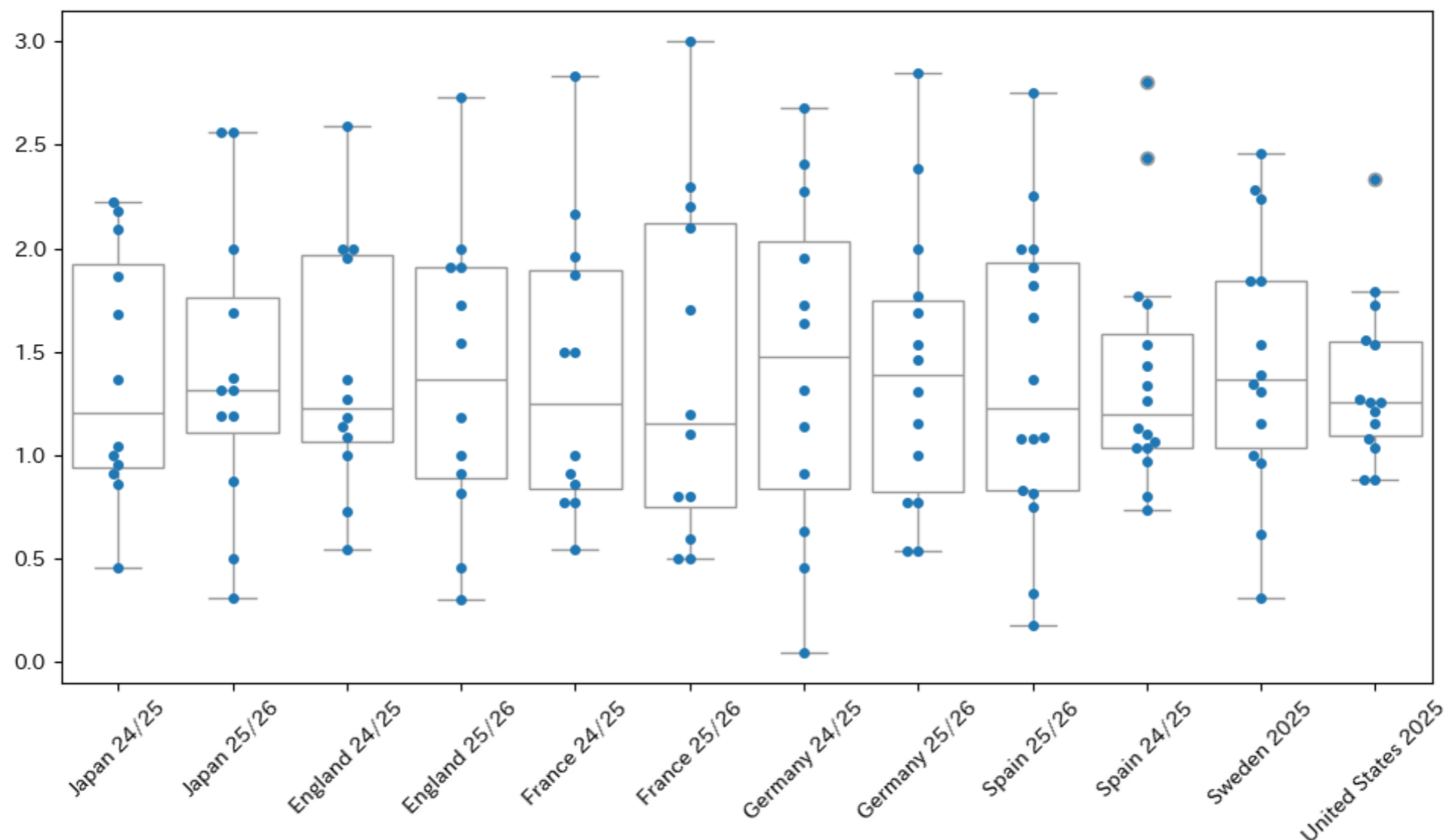
## 試合日の気温範囲



気候情報を試合日に限定し、5度ずつの気温範囲別に試合数の割合を示した。2024年から現在までのデータとなるため、シーズンズれによる差異があるグラフとなる。試合日における降水量も含めると、前頁でも触れた通り日本は蒸し暑い傾向があるのと、全体に広がっていることから開催試合の気温差が激しいと言える。欧州は10-15度での試合が多く、スペインでも15-20度である。これらの国とのデータ比較は試合環境が大きく異なることを頭に入れておく必要がある。

# 成績・スコア傾向

## 平均勝点の分布



ここからはリーグ内の成績について。試合結果から平均勝点を計算しリーグ毎にプロット。縦に長いリーグは上位と下位で差が激しいことを表す。

成績差はアメリカが最も狭く、欧州は広い傾向にある。WEリーグは24/25は狭い傾向にあったが、25/26(シーズン中)は欧州に近い。

## 最終スコアの分布（全体）

	Japan		England		France		Germany		Spain		Sweden	USA
	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	2025	2025
引分	22.7%	18.8%	18.9%	23.1%	17.8%	20.0%	13.6%	17.6%	22.9%	26.1%	11.0%	27.0%
1 点差	40.9%	41.7%	37.1%	43.1%	25.9%	33.3%	28.0%	31.9%	34.2%	27.2%	40.9%	41.3%
2 点差	18.9%	19.8%	20.5%	12.3%	20.0%	20.0%	23.5%	18.7%	22.1%	18.5%	20.4%	22.2%
3 点差以上	17.4%	19.8%	23.5%	21.5%	36.3%	26.7%	34.8%	31.9%	20.8%	28.3%	27.6%	9.5%

## ホームチームの勝敗（全体）

	Japan		England		France		Germany		Spain		Sweden	USA
	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	2025	2025
勝	39.4%	40.6%	46.2%	40.0%	46.7%	45.0%	47.0%	44.0%	42.1%	37.0%	48.6%	40.2%
分	22.7%	18.8%	18.9%	23.1%	17.8%	20.0%	13.6%	17.6%	22.9%	26.1%	11.0%	27.0%
敗	37.9%	40.6%	34.8%	36.9%	35.6%	35.0%	39.4%	38.5%	35.0%	37.0%	40.3%	32.8%

WEリーグは対象国と比べて比較的点差が拡がりにくいリーグと言える。ただし24/25に比べ25/26では少々 2 点差以上が上昇傾向にある。

ホームチームの勝率が平均より少々低い傾向にある

# 試合サマリー傾向

## アクチュアルプレーイングタイム

	Japan		England		France		Germany		Spain		Sweden	USA
	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	2025	2025
試合時間	96:38	96:38	99:45	100:11	98:37	98:13	96:11	98:06	97:40	102:29	96:57	101:44
アクチュアルプレーイングタイム	56:53	57:52	57:24	56:42	57:58	55:34	55:12	54:18	54:11	52:17	57:04	53:23
(APT時間比率)	58.9%	59.9%	57.6%	56.6%	58.8%	56.6%	57.4%	55.3%	55.5%	51.0%	58.9%	52.5%
試合数	132	96	132	65	135	60	132	91	240	92	181	189

WEリーグはアクチュアルプレーイングタイム（以降APTと略）が平均より長い傾向にあり、試合時間に対するAPTの時間比率も上位となる。アメリカやスペイン(25/26)はビデオシステム導入の影響が数値に表れている。

## セツトプレー関連の試合平均回数（両チーム合算値）

	Japan		England		France		Germany		Spain		Sweden	USA
	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	2025	2025
試合時間	56:53	57:52	57:24	56:42	57:58	55:34	55:12	54:18	54:11	52:17	57:04	53:23
得点	2.58	3.14	3.21	2.94	3.32	3.30	3.11	3.56	2.82	2.85	3.33	2.65
退場	0.00	0.00	0.06	0.06	0.11	0.15	0.10	0.10	0.11	0.12	0.08	0.05
警告	0.50	0.57	2.33	2.38	2.42	3.18	2.58	3.27	2.80	3.14	1.72	2.51
ファウル	13.24	12.43	17.08	16.85	18.03	20.83	19.94	21.67	19.65	19.24	19.71	21.93
ペナルティキック	0.15	0.06	0.23	0.20	0.17	0.42	0.28	0.38	0.23	0.42	0.24	0.25
スローイン	69.13	63.97	44.89	46.43	50.04	50.98	53.33	54.38	47.27	48.50	56.12	45.14
コーナーキック	7.94	8.51	9.46	10.00	8.78	8.75	9.61	9.76	8.87	8.14	10.62	9.27
ゴールキック	17.83	17.86	14.52	14.94	14.79	16.12	15.76	15.69	16.92	16.85	18.75	15.08

APTに関わるスタッツを集めたが、根本的にファウルが少ないWEリーグは、アウトプレー時間を割かれる警告退場、ペナルティキックも少ないためAPTが伸びやすい。ゴールからキックオフまでの時間もAPTに影響するためゴール数も関わってくるが、WEリーグは24/25より25/26の方がゴールが多い中でもAPTを伸ばしている。

ただしスローインとゴールキックは多い傾向にあり、特に前者はその色が濃い。スローインはアウトプレーの時間が短いためAPTに大きく影響していないようだが、プレークオリティの面では要分析対象と言える。

## シュートスタッツ（1試合1チーム平均）

	Japan		England		France		Germany		Spain		Sweden	USA
	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	2025	2025
シュートによる得点	1.26	1.33	1.53	1.40	1.62	1.62	1.53	1.71	1.36	1.38	1.62	1.24
シュート数	11.95	12.10	12.10	11.75	12.14	11.75	11.91	12.85	11.70	11.48	13.27	11.60
シュート成功率	10.6%	11.0%	12.6%	11.9%	13.3%	13.8%	12.8%	13.3%	11.7%	12.0%	12.2%	10.7%
期待値10%以上のシュート比率	39.2%	41.5%	48.0%	46.9%	47.7%	46.2%	48.7%	44.5%	42.8%	42.8%	43.5%	42.1%
セットプレーゴール比率	24.0%	18.8%	18.1%	19.3%	16.7%	22.2%	26.1%	29.0%	21.1%	28.1%	22.2%	18.6%
セットプレーシュート比率	17.2%	14.6%	17.8%	19.6%	17.5%	18.2%	21.5%	21.0%	17.7%	18.8%	19.2%	18.8%

## 期待値別比率

	Japan		England		France		Germany		Spain		Sweden	USA
	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	2025	2025
0 - 0.05	32.8%	31.6%	23.5%	23.1%	26.3%	28.9%	25.5%	28.7%	31.0%	31.0%	26.1%	27.3%
0.05 - 0.10	28.0%	26.9%	28.4%	30.1%	26.0%	24.9%	25.8%	26.9%	26.2%	26.2%	30.4%	30.7%
0.10 - 0.15	15.2%	16.1%	19.5%	16.4%	15.7%	15.3%	18.1%	15.6%	15.2%	15.6%	15.9%	17.1%
0.15 - 0.20	7.4%	8.1%	9.3%	10.8%	10.3%	9.2%	9.0%	9.2%	8.1%	8.0%	9.1%	8.9%
0.20 - 0.30	8.5%	8.9%	9.9%	10.3%	10.5%	10.8%	11.1%	9.7%	8.9%	9.1%	9.4%	8.1%
0.30 - 0.40	4.2%	4.0%	4.6%	5.0%	5.2%	4.9%	5.5%	4.6%	5.1%	5.0%	4.5%	4.3%
ペナルティ除く 0.40 -	3.9%	4.4%	4.6%	4.4%	6.0%	6.0%	5.1%	5.3%	5.5%	5.1%	4.6%	3.7%

前述の通りゴールが少なめだが、シュート数は他国より大きく変わらないため、シュートの成功率が低くなる。選手がペナルティエリア内(以下PA内)に密集するようなセットプレー攻撃（定義はレポート終盤に記載）での得点比率は、24/25は多かったが25/26は少ない状況。

下表はゴール期待値の範囲別のシュート比率で、期待値が大きいほど、よりビッグチャンスでのシュートだったと言い換えられる。WEリーグは期待値が低いシュートへの偏りが大きく、シュート成功率の低さにつながっている。

タイプ別のシュート比率

	Japan		England		France		Germany		Spain		Sweden	USA
	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	2025	2025
ペナルティキック	0.6%	0.3%	1.0%	0.9%	0.7%	1.8%	1.2%	1.5%	1.0%	1.9%	0.9%	1.1%
キーパーと1vs1	3.4%	3.6%	3.4%	3.9%	5.2%	5.2%	4.7%	4.0%	4.5%	3.7%	3.6%	3.3%
ヘディング	16.8%	13.9%	15.4%	14.0%	14.0%	14.2%	14.7%	13.3%	15.7%	16.0%	14.2%	15.0%
ミッドレンジ	42.6%	45.4%	49.1%	49.8%	43.9%	42.5%	43.6%	44.1%	41.4%	39.5%	46.5%	50.7%
ロングレンジ	26.0%	25.7%	17.6%	17.2%	22.8%	23.7%	20.5%	22.9%	24.8%	25.3%	20.7%	19.1%
クローズレンジ	9.4%	9.5%	11.3%	11.6%	10.5%	9.2%	11.7%	10.2%	9.6%	10.3%	11.8%	8.6%
ゴールが空いている状況	0.2%	0.2%	0.2%	0.4%	0.4%	0.5%	0.5%	0.7%	0.5%	0.4%	0.4%	0.3%
その他	1.7%	1.6%	2.9%	3.2%	3.3%	4.8%	4.3%	4.8%	3.4%	4.9%	2.7%	3.0%

.....

シュートのタイプ別の比率を見ると、WEリーグはロングレンジのシュートが多く、ペナルティキックや1vs1、ゴールが空いているシュートなどが少ない。この傾向がそのまま前頁のゴール期待値範囲別のデータに表れていると言える。

17

## ボール前進に関わるプレー

	Japan		England		France		Germany		Spain		Sweden	USA
	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	2025	2025
セットプレー除くパス成功	310.25	334.75	340.19	335.27	328.99	314.33	307.44	302.96	300.16	286.95	299.61	293.56
ドリブル（1vs1）	8.32	8.96	9.77	10.61	9.67	9.46	8.57	10.07	9.39	9.70	9.78	10.16
プロGREッシブキャリアー	13.30	14.14	15.91	15.07	16.50	14.54	14.05	14.15	14.25	13.44	17.01	15.31
ステップイン	10.98	11.10	16.67	16.50	18.00	15.79	15.86	14.43	15.95	16.24	18.43	14.29
地上戦デュエル	39.05	43.82	32.49	39.41	35.97	37.14	34.85	41.85	32.29	30.96	42.06	33.56
空中戦デュエル	17.20	14.23	8.50	8.97	8.57	8.85	8.89	10.73	9.28	9.89	9.61	9.11

## エリア別の保持時間比率

	Japan		England		France		Germany		Spain		Sweden	USA
	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	2025	2025
自陣PA内	15.3%	15.1%	16.3%	17.0%	14.7%	13.9%	15.9%	15.1%	16.0%	15.7%	16.9%	16.5%
1stサード	23.2%	24.1%	24.2%	24.1%	24.5%	24.6%	24.7%	23.0%	21.7%	21.7%	23.0%	25.7%
ミドルサード	41.4%	40.8%	40.0%	39.7%	42.2%	43.8%	42.6%	43.5%	42.3%	43.0%	39.2%	38.3%
ファイナルサード	18.2%	18.1%	17.3%	17.0%	16.7%	15.8%	15.0%	16.4%	17.9%	17.6%	18.7%	17.4%
敵陣PA内	1.9%	1.9%	2.2%	2.2%	2.0%	1.9%	1.9%	2.0%	2.1%	2.1%	2.3%	2.1%

プレースタッツを追っていくと、WEリーグは前進キャリアー、1vs1ドリブルが少々少なめ。一方で空中戦デュエルは多く、24/25では他リーグの倍近く発生している。地上戦デュエルも多い傾向。

エリア別のボール保持時間比率は、大きな差分はないがWEリーグはファイナルサードでの時間が少々長い傾向にある一方で、相手のペナルティエリアの中となると他国より低くなる。これは前述のシュートエリアも関係している。

## 自陣から敵陣へのプレー比率

	Japan		England		France		Germany		Spain		Sweden	USA
	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	2025	2025
Dribble	12.9%	13.6%	19.0%	19.2%	19.6%	18.9%	18.7%	18.2%	19.7%	18.0%	19.3%	19.6%
Low Pass	25.8%	29.6%	36.2%	32.8%	36.0%	35.6%	35.0%	33.9%	31.2%	31.6%	30.1%	31.4%
Short Aerial Pass	1.3%	1.5%	1.2%	1.2%	1.4%	1.0%	1.5%	1.2%	1.3%	1.3%	1.0%	1.1%
Chipped Pass	30.4%	28.1%	23.6%	25.1%	22.9%	23.2%	22.4%	23.0%	23.9%	22.8%	27.4%	25.1%
Diagonal Pass	4.3%	4.6%	4.9%	5.1%	4.4%	4.7%	4.1%	3.8%	4.1%	4.1%	4.0%	4.9%
Header	9.1%	7.9%	4.7%	5.5%	4.8%	4.8%	5.2%	5.3%	5.7%	6.6%	5.2%	5.5%
etc	16.1%	14.7%	10.4%	11.1%	10.9%	11.8%	13.1%	14.7%	14.2%	15.6%	13.2%	12.4%

## ファイナルサードへのプレー比率

	Japan		England		France		Germany		Spain		Sweden	USA
	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	2025	2025
Dribble	15.7%	16.1%	21.5%	20.9%	19.4%	18.9%	18.0%	19.1%	19.2%	18.9%	20.5%	21.6%
Low Pass	32.2%	34.3%	41.1%	41.1%	39.8%	40.9%	38.8%	38.6%	39.5%	38.1%	36.6%	36.5%
Short Aerial Pass	2.0%	1.9%	1.4%	1.3%	1.6%	1.7%	1.7%	1.8%	1.5%	1.4%	1.4%	1.6%
Chipped Pass	24.9%	24.5%	18.1%	17.9%	20.5%	19.4%	20.1%	19.6%	19.1%	18.4%	22.0%	21.0%
Diagonal Pass	3.1%	3.5%	3.8%	4.4%	4.4%	4.7%	3.7%	3.5%	3.8%	3.7%	3.7%	3.6%
Header	7.6%	6.6%	4.5%	4.2%	4.3%	4.5%	4.4%	4.5%	4.5%	5.4%	4.5%	4.6%
etc	14.5%	13.1%	9.5%	10.2%	9.9%	10.0%	13.4%	12.8%	12.3%	14.0%	11.5%	11.0%

エリアをまたぐプレーを抽出し比率化。WEリーグは他リーグと全体的に異なっており、浮き玉のパスやクリアボールの比率が高い。ヘディングパスの比率が高いのも1つ前が浮き玉のパスだったことを示している。

プレッシャー

	Japan		England		France		Germany		Spain		Sweden	USA
	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	2025	2025
直近相手との距離が4 m以上	37.8%	39.8%	44.9%	44.5%	43.4%	47.2%	44.8%	43.7%	45.4%	45.4%	45.9%	45.9%
約4 m	3.5%	3.7%	4.1%	4.0%	4.1%	2.6%	3.3%	3.9%	3.8%	3.0%	3.5%	3.1%
約3 m	9.9%	10.1%	9.5%	10.1%	9.0%	8.4%	8.3%	9.8%	9.0%	8.8%	8.8%	9.6%
約2 m	13.8%	13.3%	12.7%	12.7%	13.1%	11.8%	12.0%	12.2%	12.7%	12.0%	12.4%	12.5%
約1 m	11.2%	10.4%	9.8%	9.0%	10.3%	9.3%	9.7%	9.3%	9.8%	9.1%	9.2%	9.0%
1 m未満	23.8%	22.7%	19.1%	19.7%	20.2%	20.7%	21.9%	21.1%	19.3%	21.7%	20.3%	19.8%
プレッシャー度数平均	27.33	25.82	22.49	22.69	23.61	22.67	23.82	23.97	22.89	23.55	23.16	22.72

オープンプレーアクション時に直近相手選手がどれくらいの距離にいたのかを表す比率では、WEリーグは1m未満の比率が高く、デュエルが生まれやすい状況となっている。プレッシャーの度合いもWEリーグが一際高い傾向となった。

（このデータはImpectのものであり、イベントデータとして距離やプレッシャー度を取得しているため、トラッキングデータのような正確性は持っていない）

## ボール奪取

	Japan		England		France		Germany		Spain		Sweden	USA
	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	2025	2025
ボール奪取	197.99	185.42	147.77	145.18	162.66	156.13	161.60	166.82	149.97	150.26	167.54	142.63
ボール奪取による攻撃開始比率	44.3%	45.8%	45.5%	45.5%	47.7%	47.6%	44.5%	44.2%	47.0%	46.4%	46.3%	45.6%
プレー別												
ブロック	9.3%	8.4%	11.2%	11.0%	10.1%	9.2%	10.8%	10.4%	9.8%	8.9%	9.5%	10.3%
キーパーキャッチ	4.0%	4.3%	4.0%	4.2%	4.2%	4.2%	4.3%	3.7%	4.6%	4.5%	4.8%	4.1%
キーパーセーブ	1.1%	1.4%	1.4%	1.5%	1.6%	1.6%	1.3%	1.7%	1.6%	1.5%	1.6%	1.5%
地上デュエル	10.9%	11.9%	12.7%	13.8%	12.5%	13.2%	12.2%	13.1%	12.3%	11.2%	13.1%	12.9%
インターセプション	26.4%	27.5%	28.4%	27.6%	31.8%	32.3%	29.7%	28.6%	29.0%	30.9%	29.3%	28.9%
ルーズボール（ヘッド）	20.0%	18.5%	15.0%	14.4%	13.5%	13.3%	14.8%	15.5%	16.2%	16.5%	14.7%	15.2%
ルーズボール（他）	28.2%	28.1%	27.3%	27.5%	26.3%	26.2%	26.9%	27.0%	26.5%	26.5%	27.1%	27.1%
ゴール方向相手人数別												
10人以上	53.4%	54.1%	50.4%	50.1%	48.4%	48.5%	48.5%	49.7%	50.8%	50.1%	51.4%	50.0%
8～9人	27.7%	26.3%	26.8%	27.2%	28.5%	28.0%	28.9%	28.7%	28.1%	28.1%	27.1%	27.6%
6～7人	13.3%	13.6%	15.3%	15.5%	15.7%	15.8%	15.2%	14.7%	14.2%	15.0%	14.9%	15.6%
5人以下	5.6%	6.0%	7.5%	7.3%	7.4%	7.7%	7.5%	7.0%	6.8%	6.8%	6.7%	6.8%

前提として、Impectのボール奪取は細かくデータを取る趣向で、全体の数は印象より多くなる（日本語として「ボール奪取」という言葉にしたが、映像で見ると奪取とは言えないシーンも含まれる）。この数に加えてボール奪取により攻撃が切り替わった数も新たに設定した。この2つの値から比率を作ることによって「ボールを奪ったが繋がれず攻撃権を得るには至らなかった」というデータも生成できる。

WEリーグはボール奪取単体の試合平均回数がとても多く、攻撃切り替えに至った数も多くなっている。比率（後者÷前者）化すると24/25シーズンは44.3%で、攻撃切り替えに至った割合が低い部類に相当する

## フィジカルデータ（60分以上出場した選手の90分換算値）

	Japan		England		Germany		Spain		Sweden	USA
	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	2025	2025
総移動距離（m）	9892	10003	9629	9725	10070	10003	9486	9166	10046	9362
25km/h以上の距離	34	37	75	76	65	59	70	62	62	71
20-25km/h以上の距離	353	361	414	416	407	405	369	350	402	398
ハイインテンシティ率	3.92%	3.97%	5.08%	5.06%	4.69%	4.64%	4.63%	4.49%	4.62%	5.01%
15-20km/h以上の距離	1249	1259	1278	1307	1305	1313	1165	1120	1333	1225
High 加速	2.91	3.30	3.46	3.40	3.41	3.33	3.60	3.34	2.70	3.92
Med 加速	101.61	99.05	99.38	102.04	97.19	101.06	102.04	96.57	99.73	100.46
High 減速	6.27	6.46	9.30	8.94	8.16	8.39	8.81	8.00	5.87	9.32
Med 減速	91.14	89.68	88.08	88.12	86.98	89.55	88.47	83.27	89.93	84.18

フィジカル系データは60分以上出場選手したキーパー以外の選手の90分換算値をベースに出力する。WEリーグは総移動距離は比較的長いが、ハイインテンシティ率（20km/h以上の移動距離比率）は他のリーグから1段階落ち、特に25km/h以上の距離では倍ほどの差がある。加減速については先述のデータほど差はないが、Highの値は少々低めになりやすい。

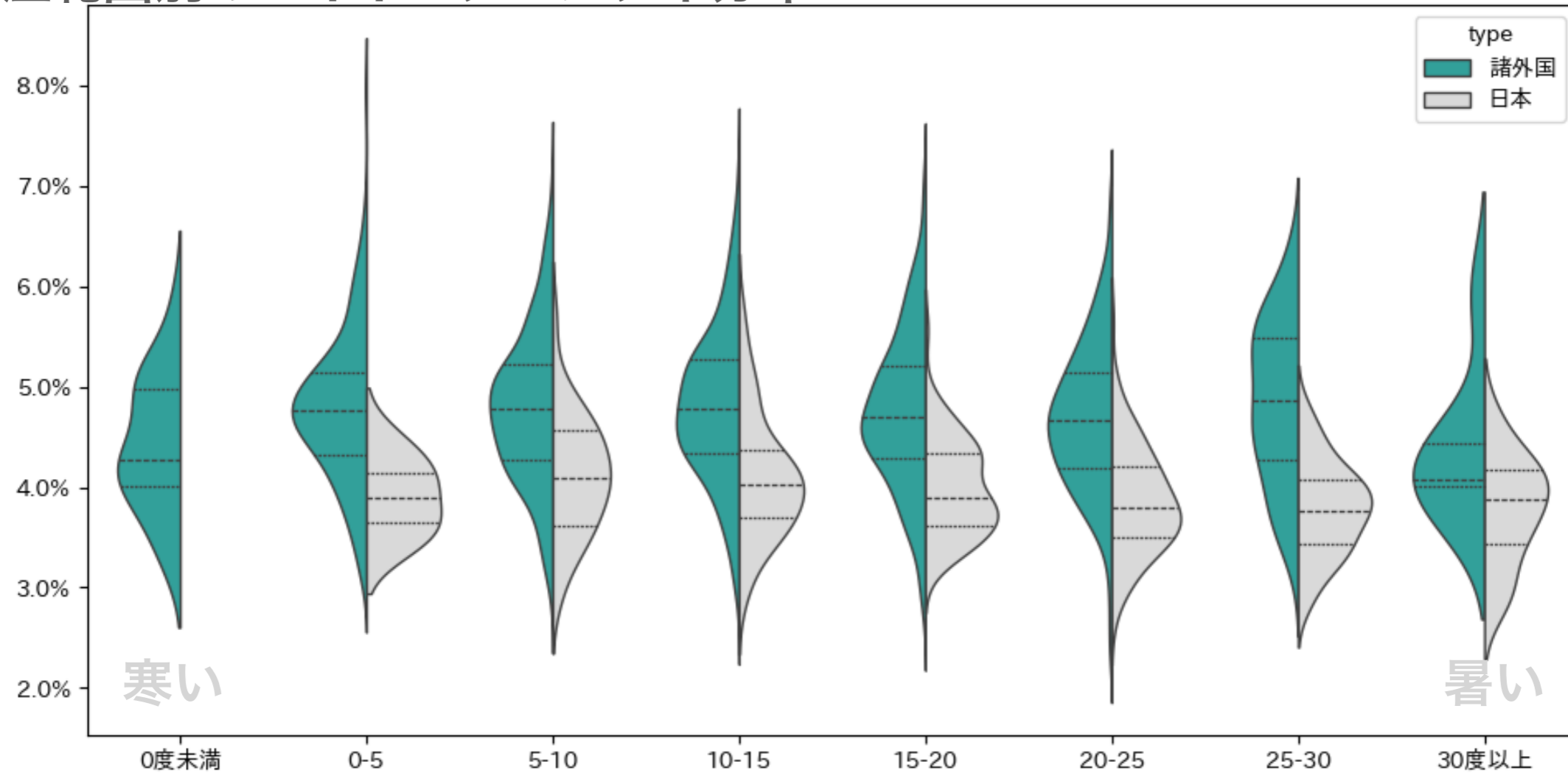
## 保持状況別のフィジカルデータ

		Japan		England		Germany		Spain		Sweden	USA
		24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	2025	2025
総移動距離 (m)	保持時	3384	3459	3354	3345	3447	3401	3193	2998	3525	3080
	相手保持時	3629	3723	3631	3600	3682	3579	3425	3190	3717	3344
ハイインテンシティ率	保持時	4.71%	4.67%	5.76%	5.75%	5.62%	5.63%	5.43%	5.54%	5.56%	5.97%
	相手保持時	5.32%	5.38%	6.98%	7.07%	6.44%	6.59%	6.49%	6.44%	6.26%	7.37%
15-20km/h以上の距離	保持時	482	481	496	504	514	521	454	443	535	472
	相手保持時	647	661	660	662	653	653	587	553	669	619
Med以上 加速	保持時	33.66	31.73	35.22	34.60	32.48	34.14	34.45	32.31	34.05	34.24
	相手保持時	37.74	37.34	36.36	37.71	37.08	37.24	38.25	36.26	34.71	39.73
Med以上 減速	保持時	28.90	29.36	28.90	29.45	28.91	29.12	28.89	26.88	28.97	27.43
	相手保持時	31.59	31.70	32.47	32.57	31.66	31.57	32.22	29.60	30.98	31.80
方向転換	保持時	6.57	7.45	7.44	7.38	8.46	7.76	7.07	7.03	6.65	7.74
	相手保持時	12.43	12.60	12.49	12.87	12.98	12.86	11.62	11.26	10.97	12.78

保持時と相手保持時に区分けして集計。WEリーグのハイインテンシティ率は双方とも低いですが、相手保持時の方がより他のリーグとの差分が大きい。

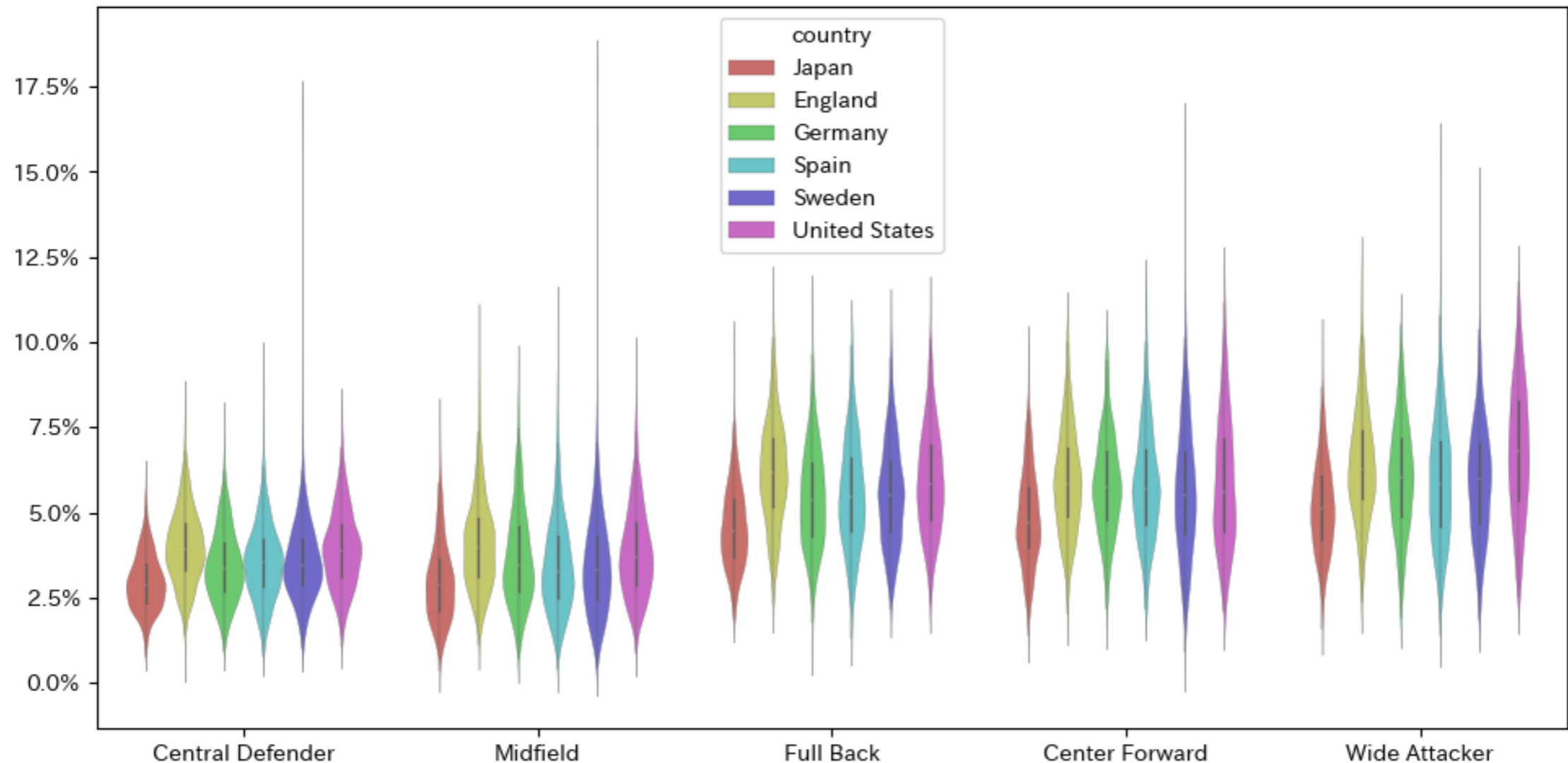
Med以上の加減速では、特に25/26の保持時の加速が少ない傾向にある。

## 気温範囲別のハイインテンシティ分布



最初に紹介した気温のデータと紐づけ、気温の範囲毎にハイインテンシティ率を出力。気温に関係なくWEリーグのハイインテンシティ率は低い。諸外国は25度程度でもまた高い比率を保っているが、30度を超えると落ちる。（今回のデータ範囲で言うと、暑い諸外国はアメリカとスペインの一部となる）

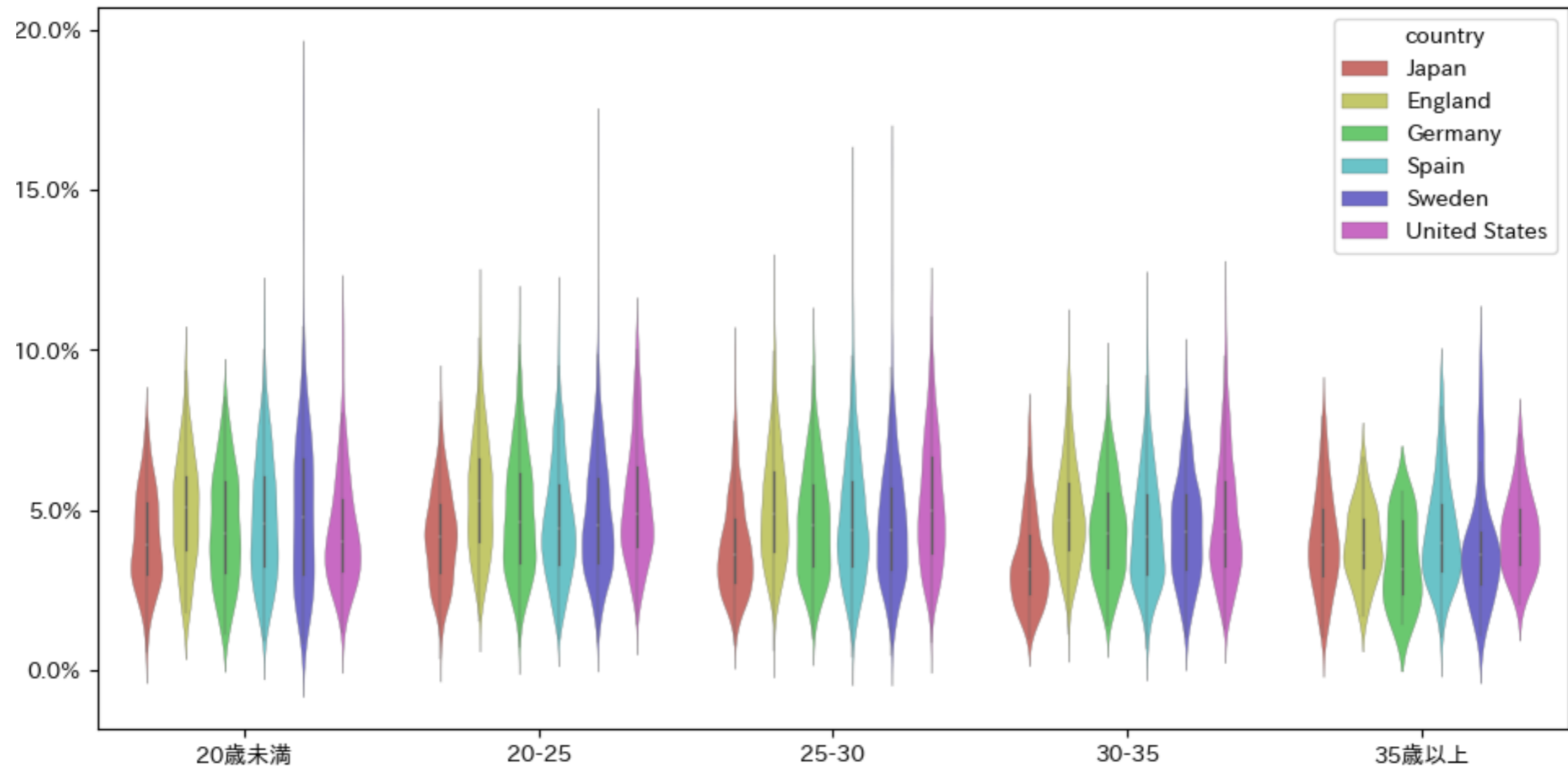
## ポジション別のハイインテンシティ分布



ポジション別で選手の各試合のハイインテンシティ率を分布したグラフ。ポジション分けはSkillCornerの区分に従ったもの。

やはりどのポジションもWEリーグは低い分布となるが、フルバック（サイドバックなど）の選手により開きが見える。

## 年齢範囲別のハイインテンシティ分布



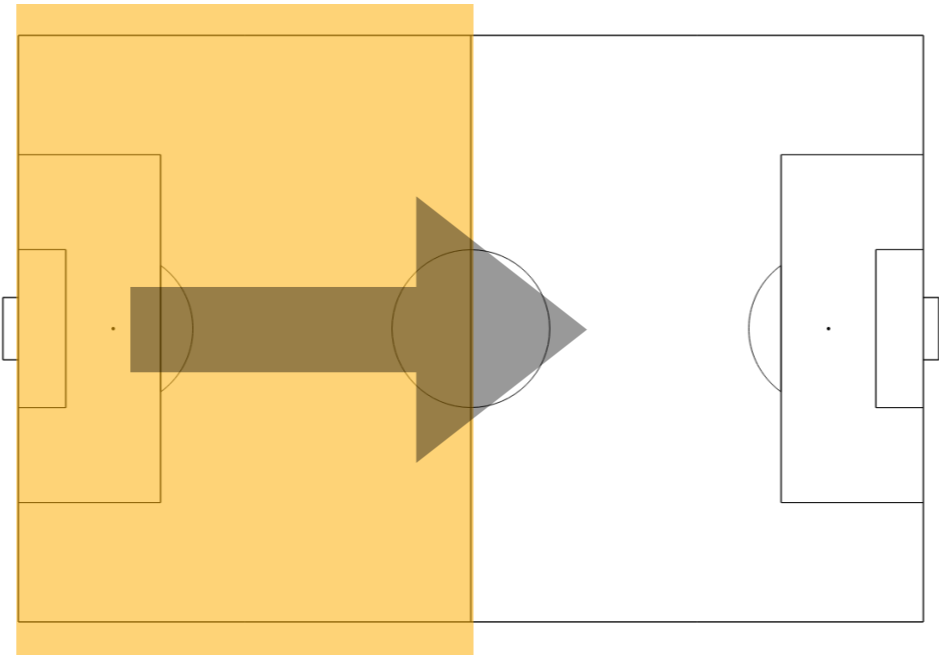
年齢範囲別で見ると、WEリーグと諸外国の差が大きいのは25歳から35歳の間となった。最も選手数が多い影響もあると思われる。

35歳以上においては他国より少々高く、このレポート内のハイインテンシティデータで唯一他国に勝っている傾向が出た。

# ビルドアップ周りの分析

## はじめに

サマリーをもとにいくつかの項目において詳細な分析を行う。本項「ビルドアップ周りの分析」では、カウンター（定義はレポート終盤に記載）を除く自陣から攻撃が始まったシチュエーションにおける自陣やミドルサードでのプレーデータを振り返る。



	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
カウンター除く自陣攻撃開始数	96.06	76.90	87.50	87.22	83.66	90.21	76.99
カウンター比率	3.2%	4.5%	4.2%	4.2%	3.9%	4.2%	4.6%

サマリーにあった通り、WEリーグはボール奪取、スローインが多い影響もあり自陣からの攻撃の開始数の試合平均値も最多となっている。その分、カウンター攻撃の比率は低めとなった。

## 攻撃結果の集計

カウンターを除く自陣からの攻撃における集計は下表のようになった。

	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
カウンター除く自陣攻撃開始数	93.02	73.41	83.79	83.54	80.37	86.41	73.49
シュートに至った比率	3.6%	4.4%	4.1%	3.9%	4.1%	4.2%	4.5%
シュート時の期待値平均	13.5%	14.6%	15.6%	15.4%	14.0%	14.7%	13.6%
ミドルサード到達率	43.3%	40.6%	43.8%	43.8%	41.9%	39.7%	39.9%
ファイナルサード到達率	15.8%	18.1%	18.5%	17.5%	19.0%	18.4%	18.2%
5秒でロスト率	20.5%	16.6%	17.3%	17.7%	18.3%	17.8%	17.1%
5秒で攻撃切替率	27.3%	21.6%	22.1%	23.4%	23.9%	23.2%	22.4%
10秒でサイドアウト比率	14.8%	10.5%	10.8%	12.0%	11.1%	12.1%	11.1%

WEリーグは同攻撃がそのままシュートへつながる比率は低く、そのシュートの期待値も若干低い傾向だ。ミドルサードには前進できているがファイナルサード進入になると他リーグより2,3%低下する。また5秒未満（2、3プレー）で相手に攻撃権を与える攻撃の終え方をするシチュエーションが多い。その中の1つがタッチラインのボールアウトとなり、WEリーグのスローインの多さにつながる。攻撃開始後に5秒未満にアウト、10秒未満にアウトする比率ともにWEリーグは他国より数%高い。もともとの母数が大きいため、それだけスローインが多くなる。

## タッチラインアウト

攻撃をタッチラインアウトで終えるパターンでも、相手のクリアによって終わった場合はそのまま自チームが攻撃を続けられるので、攻撃側のチームにとっては大きな問題ではないと言える。ただし日本の場合は相手にスローインを与え、且つミドルサードや被ファーストサード（相手から見たファイナルサード）といった高い位置でスローインを与えている傾向にある。

### アウト後の次の攻撃開始エリアとチーム

		Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
ファーストサード	自チーム	7.6%	10.7%	10.2%	8.9%	7.6%	10.1%	9.8%
	相手チーム	19.8%	19.0%	17.6%	17.3%	17.1%	19.7%	19.2%
ミドルサード	自チーム	21.5%	21.2%	22.2%	22.9%	21.8%	19.2%	20.8%
	相手チーム	28.7%	25.5%	28.0%	27.6%	28.2%	26.5%	26.9%
ファイナルサード	自チーム	12.7%	13.8%	12.0%	14.0%	14.8%	13.6%	13.6%
	相手チーム	9.7%	9.7%	10.0%	9.2%	10.5%	10.9%	9.7%
スローイン相手比率		58.2%	54.3%	55.6%	54.2%	55.8%	57.2%	55.8%

# タッチラインアウト

アウトとなった主なプレー要因はパスであり、そのパスの中でも浮き玉のパスやヘディングのパスがアウトに繋がっている。

アウト 1 つ前のプレー比率

	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
Pass	64.5%	60.2%	60.6%	59.3%	61.6%	63.1%	61.8%
Dribble	2.0%	2.7%	2.8%	2.4%	2.3%	2.4%	2.6%
Block	13.6%	17.0%	17.2%	17.4%	14.8%	13.8%	14.5%
Clearance	18.1%	19.1%	18.3%	19.9%	19.5%	19.5%	19.8%
Goal Kick	0.7%	0.2%	0.3%	0.2%	0.7%	0.4%	0.5%
etc	1.0%	0.8%	0.9%	0.8%	1.1%	0.9%	0.8%

アウト 1 つ前のパスタイプ比率

	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
Chipped Pass	22.8%	19.5%	16.6%	17.7%	18.6%	18.7%	20.3%
Cross	0.2%	0.4%	0.3%	0.4%	0.3%	0.3%	0.4%
Diagonal Pass	10.4%	12.7%	8.7%	9.6%	9.6%	9.9%	11.4%
Header	19.7%	12.8%	12.8%	13.2%	15.7%	13.9%	13.9%
Low Pass	37.9%	46.2%	51.6%	49.8%	45.8%	49.8%	46.2%
Short Aerial Pass	8.9%	8.4%	10.1%	9.3%	10.1%	7.4%	7.8%

## ミドルサードでの空中戦

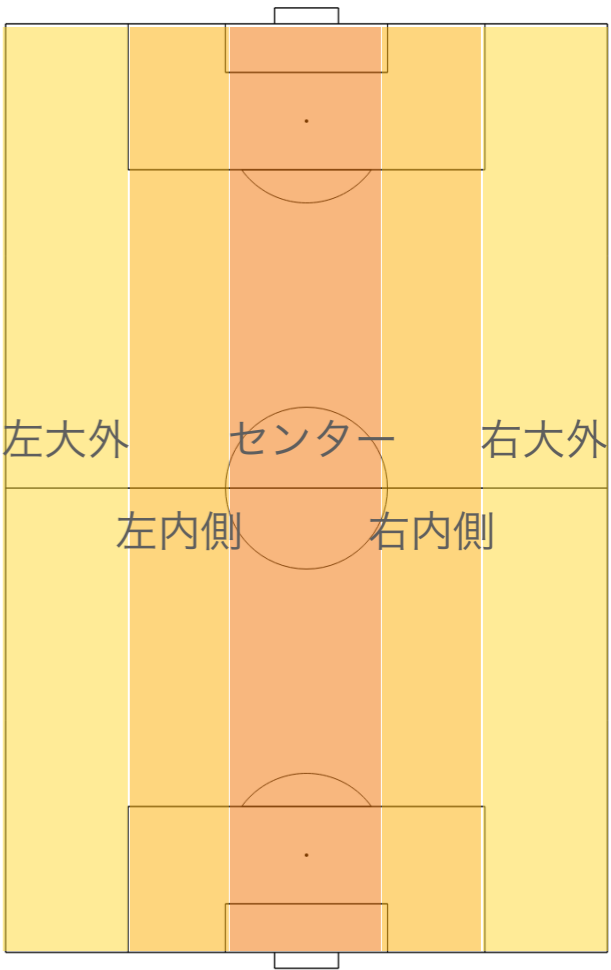
浮き玉パスの多さはサマリーでも出ていたため、ミドルサードでの空中戦について。レーン別で発生回数（試合  
 平均値）をまとめるとWEリーグは突出しており、サイドでの比率が高い。

試合平均値

	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
左サイド大外	3.29	1.35	1.57	1.53	1.36	1.36	1.37
左サイド内側	2.79	1.45	1.69	1.29	1.55	1.41	1.63
センター	1.45	1.27	1.34	1.44	1.72	1.34	1.40
右サイド内側	3.25	1.47	1.83	1.71	1.81	1.78	1.43
右サイド大外	3.96	1.56	1.49	1.49	1.58	1.64	1.40

比率

	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
左サイド大外	22.3%	19.0%	19.9%	20.5%	16.9%	18.1%	18.9%
左サイド内側	19.0%	20.4%	21.3%	17.3%	19.3%	18.7%	22.5%
センター	9.8%	17.9%	16.9%	19.3%	21.4%	17.8%	19.4%
右サイド内側	22.0%	20.7%	23.1%	22.9%	22.6%	23.7%	19.8%
右サイド大外	26.9%	21.9%	18.8%	20.0%	19.8%	21.7%	19.4%



## 大外レーンへのパスのスピード

ゴールを奪うためにサイドで前進を狙うのはサッカーでは当たり前のシーンと言える。そして速やかに前進をするためにはサイドへのボールスピード、ボールを受けた状況が鍵となる。

本来、パススピードのデータはスピードガンや精微なトラッキング機器で取得すべきだが、イベントデータでも正確なタイムスタンプと座標位置が取得できていればある程度の参考値は出力可能だ。できるだけ異常値を防ぐために距離範囲毎に計算し、パスが成功したケースのみに限定した。

このデータにおいてWEリーグは、若干平均より遅いパスはあるものの、基本的には他国と変わりがないと言える。「パスが遅いから空中戦となった」というわけではなさそうだ。

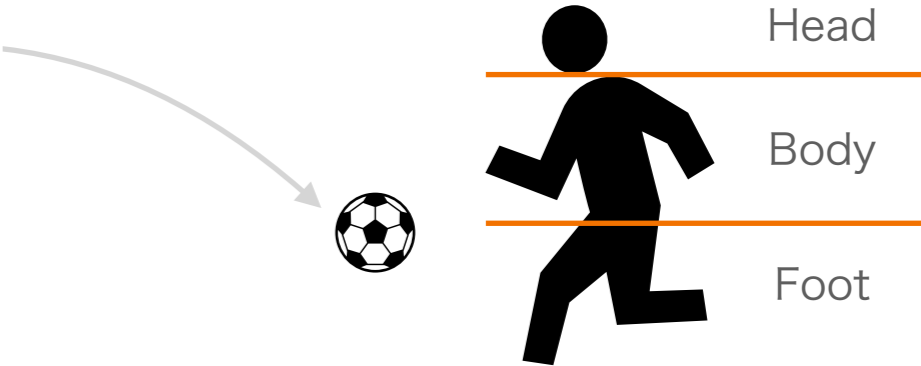
パスタイプと距離別のパススピード (m/s) の参考値

		Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
Chipped Pass	15-25m	12.31	13.08	12.51	12.41	12.28	12.36	12.33
	25-35m	14.38	15.08	14.16	14.75	14.33	14.48	14.34
	35-45m	13.20	13.75	12.86	13.39	13.02	13.54	13.40
Low Pass	15-25m	11.43	12.07	11.60	11.84	11.81	12.20	11.91
	25-35m	12.82	13.12	12.59	12.89	12.86	13.13	12.63
	35-45m	11.63	11.71	11.70	11.86	12.34	11.83	11.62

大外レーンパス受けの部位

Impectのデータにはパスを受けた部位が存在するため、こちらを集計。足下で受けるか体の上部で受けるかは、次のアクションへ切り替える早さが異なる。焦点となっている大外レーンへの浮き玉のパスに限定してレシーブ部位と集計した。

		Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
成功	Foot	19.8%	27.7%	27.9%	25.1%	24.8%	22.4%	24.3%
	Body	4.9%	7.9%	8.3%	6.5%	6.6%	6.4%	6.4%
	Head	3.8%	3.5%	3.7%	3.5%	3.8%	3.6%	3.2%
ニュートラル	Foot	3.1%	3.4%	3.1%	4.1%	3.6%	4.2%	4.0%
	Body	0.7%	1.1%	0.9%	1.2%	1.2%	1.2%	1.1%
	Head	6.5%	5.2%	4.7%	4.0%	4.4%	4.2%	4.6%
失敗	Foot	32.3%	28.0%	29.9%	29.9%	29.7%	32.2%	31.2%
	Body	5.1%	5.2%	5.3%	5.7%	5.5%	6.1%	5.2%
	Head	23.7%	18.0%	16.2%	19.9%	20.5%	19.6%	20.0%



パス自体が浮き玉であろうと受けるタイミング、位置によっては当然足元で受けられる。他国のリーグは該当パスのうち25%前後は足下で受けることに成功しているが、WEリーグは20%に届いていない。BODY（胸トラップ）も数%低い。

# 大外レーンパス受け時の相手との距離

サイドでボールを受けた際に一番近い相手がどれくらいの距離にいたかのデータだ。4 m前後以上については「free」とする。

	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
1m	33.0%	29.4%	28.1%	30.7%	29.0%	30.2%	28.8%
2-3m	25.6%	25.0%	23.0%	22.8%	23.0%	23.5%	24.4%
free	41.3%	45.6%	48.9%	46.5%	48.0%	46.4%	46.8%

空中戦が多い数値が示す通り、他国に比べスペースで受けられる機会が少ない。このデータは後述するサイドポジションの動きとも関連が推測される。

## ミドルサードでのボールコントロール

ミドルサード開始のボールコントロール（ドリブル）データについて追っていく。1 試合平均回数ではWEリーグは中央が少なくその分サイドに寄っている。

試合平均値	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
左サイド大外	22.15	20.13	23.00	20.85	20.32	17.83	17.71
左サイド内側	14.67	13.72	14.84	15.41	14.97	13.12	12.38
センター	16.60	15.82	19.47	20.17	20.32	17.33	15.31
右サイド内側	14.21	12.93	14.56	15.02	14.53	12.96	12.08
右サイド大外	19.74	19.46	21.84	19.63	19.50	17.98	17.29

Impect社といえばパッキングレート（相手を越した人数）という日本でも有名な指標があるが、この指標で1以上を記録し成功したドリブルの割合を見ると、WEリーグはサイドでも低い数値となる。

逆にボールコントロール自体は成功（次のプレーができている）したもの前進できず後退した平均数はWEリーグは多くなった。サイドでボールを保持しても前進しづらい特徴となっている。

### パッキングレート1以上を記録したドリブル比率

	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
左サイド大外	6.7%	8.0%	8.8%	8.6%	9.1%	8.9%	8.1%
左サイド内側	5.2%	6.1%	7.4%	6.3%	6.1%	6.4%	5.8%
センター	4.4%	5.2%	5.4%	4.5%	4.9%	5.2%	4.0%
右サイド内側	4.8%	5.8%	7.3%	5.6%	6.0%	6.5%	5.6%
右サイド大外	6.7%	7.6%	9.0%	8.3%	9.2%	8.9%	7.9%

### 後退した試合平均値

	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
左サイド大外	16.82	14.79	16.55	14.76	14.66	12.43	12.46
左サイド内側	11.33	10.23	10.84	11.19	10.82	9.15	8.81
センター	13.14	12.23	14.94	15.39	15.03	12.46	11.35
右サイド内側	10.62	9.52	10.36	11.03	10.52	8.95	8.54
右サイド大外	14.95	14.01	15.62	14.11	14.10	12.25	12.08

# キーパーのキャッチからリリース

自陣からの攻撃開始パターンの一つにゴールキーパーがキャッチしてからリリースするシチュエーションが存在する。25/26より厳格性がなかったキーパーの6秒ルールが、意識を変えた上での8秒ルールに変わったこともあり注目点の1つとなっており、シーズン別でデータを見る必要がある。

このシチュエーションだとゴールキーパーのリリースはスローかキックかに分かれる。キックの場合は手元から離れる場合があるが、データ上はキャッチからリリースまでの時間となるため、8秒を超えることは普通にある（そもそも8秒のカウントはキャッチの瞬間から始まるわけでもないので、明確に8秒ルールと照合することはできない）。それでもやはり24/25から25/26にかけては多くのリーグで時間の短縮は見受けられた。

キャッチリリースの平均時間(秒)	Japan		England		France		Germany		Spain		Sweden	USA
	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	2025	2025
All	10.70	8.83	11.05	8.12	9.69	7.76	8.28	8.02	10.74	7.99	9.17	10.94
Foot	12.70	10.33	15.02	10.08	12.22	9.81	10.17	9.78	14.37	9.64	10.97	14.46
Hand	5.69	5.39	7.38	5.68	7.41	5.68	6.36	5.46	6.54	5.57	6.42	8.02
Foot 比率	71.5%	69.6%	47.7%	55.4%	47.7%	50.2%	50.8%	59.4%	53.6%	59.5%	60.6%	45.1%
5秒未満でリリース比率	28.3%	31.2%	32.8%	39.0%	32.9%	37.3%	39.0%	36.3%	34.7%	39.0%	31.3%	25.5%

国別で見ると、全体平均時間においてWEリーグは長い傾向にある。これは他国に比べてスローよりキックを選択する割合が圧倒的に多いのが原因だろう。他国はキック比率が5～6割だが、WEリーグは7割程度となっている。キックとスローそれぞれの平均時間においてはそこまで長い傾向になく、特にスローは短い数値となった。

# アウトプレー分析

はじめに

続いてアウトプレーについて、前述でもいくつか紹介しているが、アウトプレー中の時間やファウル要因について追っていく。スローインロング（ロングスロー）の定義はレポート終盤に記載。

プレー別再開までの時間(中央値)	Japan		England		France		Germany		Spain		Sweden	USA
	24/25	25/26	24/25	25/26	24/25	25/26	25/26	24/25	25/26	24/25	2025	2025
コーナー	37.59	38.43	32.51	32.89	31.66	31.65	32.98	32.43	33.40	32.25	31.49	32.78
ゴールキック	23.18	22.05	24.77	25.50	21.56	21.35	21.74	20.95	23.53	23.64	18.76	24.87
スローインロング	14.98	11.94	16.85	18.09	16.80	15.56	14.35	17.20	19.86	18.06	18.23	24.67
スローイン他	9.71	9.61	11.79	12.05	10.43	10.66	10.49	10.87	12.61	12.33	9.29	10.98
フリーキック敵陣	38.26	38.55	39.31	38.63	37.81	36.56	36.65	34.83	40.19	40.43	31.58	39.24
フリーキック自陣	25.61	23.99	21.97	22.41	22.41	21.65	21.36	19.85	24.10	24.16	19.47	24.88
ペナルティ	86.52	58.84	75.81	74.97	64.43	68.23	65.13	56.73	235.94	75.08	71.57	151.96
失点后キックオフ	50.32	52.73	52.67	65.60	50.20	50.87	54.08	50.82	87.16	62.24	52.71	65.85

まずアウトプレー後のセットプレーを8種に分類し、アウトプレータイミングからセットプレーまでの時間の中央値を算出した。交代やカードが発生したケースは計算から除外している。ほか負傷対応などは除外できないため、平均ではなく中央値での算出とした。

またアメリカではVARシステム、スペインではFVSが採用されている点を考慮しておく必要がある。

WEリーグで際立っているのがコーナーの長さで、他国より5秒ほど長い。現在の保有データからはこれ以上の要因に踏み込めない。

## セッtplレー前のアウト時間試合平均値

	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
コーナー	02:36	02:38	02:20	02:40	02:22	02:49	02:37
ゴールキック	03:12	03:03	02:41	02:44	03:12	02:52	03:18
スローインロング	00:00	00:00	00:00	00:00	00:00	00:00	00:00
スローイン他	05:49	04:48	04:45	05:04	05:06	04:45	04:37
フリーキック敵陣	01:39	02:13	02:29	02:32	02:36	02:01	02:46
フリーキック自陣	02:22	02:39	03:03	02:48	03:20	02:37	03:59
ペナルティ	00:05	00:10	00:09	00:11	00:20	00:10	00:22
失点後キックオフ	00:33	00:41	00:58	00:27	00:53	00:40	00:38

前頁にて紹介したデータは1つ1つのアウト時間から計算した中央値だが、発生している件数も加味するため試合平均値で時間をまとめた。

WEリーグはスローインまでのアウト時間が短い傾向だったが、スローインの数自体は多いため試合平均で見るとスローインまでの時間の長さがトップとなる。逆にファウルは少ないため最短となった。際立っていたコーナーも若干少ないため、こちらでは気にならない数値だ。

※ペナルティキックは数そのものが少ないため0を加味した試合平均となると表のような数値となる

## 点差とセットプレーまでの時間

セットプレー時の攻撃チームの点差を5段階（2点以上ビハインド、1点ビハインド、同点、1点リード、2点以上リード）に分けて、時間データを抽出。勝利という目標が大前提にあるため、リード時の方が長くなるのは仕方ないとして、同点時のWEリーグのコーナーの時間が、こちらだとさらに差異が大きくなっている。

コーナーキック	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
2点以上ビハインド	33.48	29.59	30.74	29.36	29.28	28.59	29.19
1点ビハインド	35.67	31.55	31.72	31.82	29.54	29.28	29.68
同点	39.26	32.84	32.26	32.93	33.35	31.59	33.04
1点リード	38.52	34.68	32.89	33.57	35.88	34.43	34.17
2点以上リード	36.71	33.43	29.49	32.87	31.97	33.21	34.85

ゴールキック	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
2点以上ビハインド	20.15	23.81	20.70	20.49	22.96	15.53	20.60
1点ビハインド	20.48	23.49	19.17	19.44	20.77	16.44	20.91
同点	23.21	25.13	21.58	21.60	23.74	18.97	24.59
1点リード	25.05	26.23	23.04	23.58	25.37	21.44	27.54
2点以上リード	22.74	26.43	23.10	21.91	24.88	19.40	27.43

ロングスロー	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
2点以上ビハインド	13.18	16.81	23.54	14.35	14.29	16.54	24.84
1点ビハインド	13.59	15.47	13.37	14.21	17.90	17.25	20.27
同点	14.58	17.71	16.82	17.22	18.09	20.73	26.12
1点リード	14.06	20.17	15.47	15.79	21.38	14.71	19.17
2点以上リード	17.00	18.27	22.31	16.28	17.97	22.69	25.26

他のスローイン	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
2点以上ビハインド	8.14	9.16	8.82	9.06	10.01	7.45	7.59
1点ビハインド	8.68	10.11	9.24	9.56	10.02	7.73	8.53
同点	9.80	12.01	10.62	11.02	12.84	9.37	10.95
1点リード	11.00	13.51	12.17	11.86	15.11	11.16	13.89
2点以上リード	11.03	13.68	11.33	10.94	11.95	11.02	14.85

フリーキック敵陣	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
2点以上ビハインド	36.61	36.03	33.12	34.18	36.76	29.14	36.24
1点ビハインド	38.03	39.26	38.28	35.65	40.23	30.84	37.95
同点	39.34	38.78	39.11	35.67	40.83	32.20	39.53
1点リード	35.82	43.64	39.63	37.44	42.24	31.43	39.63
2点以上リード	37.63	35.28	31.88	36.28	37.61	34.57	42.28

フリーキック自陣	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
2点以上ビハインド	19.21	20.85	19.19	18.53	21.86	16.17	18.83
1点ビハインド	21.63	19.00	20.95	18.88	21.67	17.66	20.45
同点	25.61	22.06	22.22	20.55	24.18	19.47	24.17
1点リード	28.65	24.98	27.11	23.56	28.80	23.46	30.20
2点以上リード	26.25	23.52	22.03	20.37	23.64	19.10	29.76

ペナルティ	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
2点以上ビハインド	-	73.94	86.31	58.13	91.02	85.54	163.52
1点ビハインド	83.42	69.19	72.22	68.93	86.08	65.43	151.96
同点	84.79	85.23	65.68	66.04	101.72	66.04	190.73
1点リード	117.62	76.50	63.68	59.37	84.63	96.65	92.33
2点以上リード	62.20	74.67	61.85	55.47	71.36	71.57	249.28

失点後キックオフ	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
2点以上ビハインド	51.45	57.95	52.17	53.35	66.29	50.85	70.11
1点ビハインド	52.31	55.62	50.67	52.31	71.40	54.70	66.62
同点	42.11	53.28	45.54	52.06	62.50	51.04	56.50
1点リード	40.30	34.02	40.53	43.94	86.90	44.81	55.56
2点以上リード	34.60	36.58	35.91	56.39	46.01	39.21	42.72

## 1 分以上の中断

	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
コーナー	0.19	0.12	0.15	0.14	0.15	0.13	0.19
ゴールキック	0.27	0.34	0.28	0.16	0.36	0.23	0.40
スローインロング	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
スローイン他	0.32	0.44	0.31	0.39	0.35	0.29	0.42
フリーキック敵陣	0.38	0.55	0.84	0.44	0.61	0.35	0.79
フリーキック自陣	0.27	0.39	0.60	0.31	0.53	0.25	0.70
ペナルティ	0.04	0.10	0.08	0.08	0.13	0.08	0.12
失点后キックオフ	0.20	0.31	0.34	0.17	0.58	0.22	0.42
合計	1.65	2.25	2.61	1.69	2.71	1.55	3.03

こちらは交代やカードを挟んだ事案も含めて 1 分以上セットプレー前で中断が発生した回数を試合平均化したデータ。例として0.25の場合、 4 試合 1 回発生するペースと解釈して良い。WEリーグは発生が少ない方に分類される。ビデオシステムを採用しているリーグは増えやすい。

## ファウル要因分析

サマリーにもあったようにWEリーグはファウルが少なくクリーンと評されている。ファウルが起きた1つ前のプレーを分類すると、全体的にファウルの多くはボールコントロール中（ドリブル中）に発生している。

ファウル直前のプレー比率

	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
Dribble	68.5%	76.2%	73.2%	74.1%	75.1%	74.7%	71.8%
Pass	23.9%	19.5%	20.9%	19.9%	20.0%	18.9%	22.0%
Set Play	7.0%	3.2%	5.0%	5.1%	4.0%	5.7%	5.1%
Defense	0.4%	0.9%	0.6%	0.6%	0.5%	0.4%	0.7%
Shot	0.2%	0.1%	0.3%	0.3%	0.4%	0.2%	0.3%

国別に比率を出すと、WEリーグは他国よりボールコントロール中の比率が低く、パスやセットプレー直後が少々増えている。

ゴール方向の相手人数別でプレーアクションに対してファウルがどれくらい発生したかを比率化。ファウル自体が少ないので全体的に比率は他国より落ちるが、相手が5人未満のようなチャンスになりやすいシーンでもファウル率が低いことが分かる。

ファウル直前のゴール方向相手人数

	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
5人未満	1.4%	2.3%	2.1%	2.5%	2.7%	2.6%	2.8%
6、7人	1.2%	1.9%	1.8%	2.3%	2.4%	2.2%	2.4%
8、9人	0.8%	1.3%	1.4%	1.8%	1.7%	1.5%	1.9%
10人以上	0.5%	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%

# フィニッシュワーク分析

はじめに

サマリーにて特徴があったシュートおよびシュート前について詳細を追っていく。

シュートの状況分類をペナルティキック、セットプレー攻撃、カウンター攻撃、他のポゼッション攻撃のペナルティエリア内外に分類。ペナルティエリア外のシュートの多さ、セットプレー攻撃からのシュートの少なさが目立つ。

状況別のシュート比率	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
PA内	45.5%	50.2%	45.3%	43.3%	44.6%	47.6%	46.6%
PA外	30.6%	22.5%	26.5%	25.9%	28.8%	26.2%	25.8%
ペナルティ	0.5%	1.0%	1.1%	1.4%	1.3%	1.1%	1.1%
カウンター	7.9%	8.4%	8.9%	8.0%	7.2%	6.6%	7.9%
セットプレー	15.5%	18.0%	18.1%	21.4%	18.1%	18.5%	18.6%

## 状況別シュートサマリー

WEリーグはポゼッション攻撃のペナルティエリア内シュートについてゴール率、枠内率ともに最下位。エリア外についてはゴール率は中位近辺に上昇する。どのシチュエーションにおいても枠内率は低い。

PA内	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
ゴール率	13.2%	15.0%	18.4%	15.8%	14.5%	15.2%	13.7%
枠内率	42.2%	43.6%	48.3%	47.7%	43.4%	45.0%	43.4%
期待値10%以上のシュート比率	64.4%	66.6%	70.9%	70.7%	66.1%	64.1%	62.1%
PA外	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
ゴール率	4.1%	4.3%	4.1%	4.5%	4.4%	3.9%	3.8%
枠内率	33.4%	33.2%	37.6%	33.7%	36.2%	34.0%	35.0%
期待値10%以上のシュート比率	3.6%	3.8%	4.1%	3.2%	3.7%	3.9%	3.9%
カウンター攻撃	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
ゴール率	13.5%	16.0%	16.3%	16.2%	16.1%	15.9%	13.5%
枠内率	44.5%	49.0%	50.7%	54.2%	47.2%	47.9%	47.1%
期待値10%以上のシュート比率	43.4%	52.8%	53.1%	56.1%	49.9%	48.3%	52.9%
セットプレー攻撃	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
ゴール率	13.5%	16.0%	16.3%	16.2%	16.1%	15.9%	13.5%
枠内率	44.5%	49.0%	50.7%	54.2%	47.2%	47.9%	47.1%
期待値10%以上のシュート比率	43.4%	52.8%	53.1%	56.1%	49.9%	48.3%	52.9%

# ペナルティエリア進入

ペナルティエリアでシュートを放つにはエリアに進入する必要がある。ポゼッション攻撃時でエリア進入を試みたプレーの比率を抽出するとWEリーグは浮き玉パスやハイクロスなど、空中戦が発生するプレー選択が目立つ。

エリア進入プレー比率

	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
High Cross	31.3%	26.4%	29.8%	28.2%	28.9%	25.9%	26.0%
Low Cross	8.1%	8.8%	9.8%	8.7%	8.0%	8.8%	8.2%
Chipped Pass	17.4%	13.5%	13.6%	14.5%	14.3%	15.2%	14.1%
Low Pass	17.0%	22.6%	20.2%	18.1%	19.5%	20.6%	21.0%
Pass etc	5.2%	3.2%	3.5%	3.9%	3.8%	3.7%	4.0%
Dribble	13.9%	20.8%	18.4%	17.5%	17.7%	19.1%	21.9%
etc	7.0%	4.6%	4.8%	9.0%	7.9%	6.6%	4.9%

## ペナルティエリア進入プレーの成功率

続いて先ほどのプレーでペナルティエリア内への進入に成功した比率を抽出。この場合のドリブルは相手と対峙しないボールコントロールも含まれているため成功率が高くなる。

WEリーグが多く選択している浮き玉パスとハイクロスだが、多い影響もありその成功率は他国と大きく差がある。

	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
High Cross	17.6%	19.1%	20.8%	20.6%	19.2%	19.6%	19.7%
Low Cross	29.4%	34.9%	29.9%	27.9%	29.1%	28.0%	28.0%
Chipped Pass	16.5%	21.3%	23.2%	21.8%	21.1%	21.8%	20.9%
Low Pass	46.5%	59.3%	49.9%	48.1%	49.3%	51.1%	52.0%
Pass etc	27.2%	27.2%	29.1%	26.9%	25.9%	24.7%	27.1%
Dribble	87.4%	89.1%	88.1%	86.9%	87.2%	86.1%	91.2%

※このDribbleはボールコントロール中のものをすべて含めているため、高い成功率となる

## PA内シュートの1つ前プレー別期待値

ポゼッション攻撃によるエリア内のシュートについて、1つ前のプレー別でゴール期待値をまとめた。期待値が高い方がより大きいチャンスを生み出できていると言える。

	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
PA内ハイクロス	0.2517	0.2240	0.2829	0.2460	0.2274	0.2551	0.2186
PA内ロークロス	0.2254	0.2096	0.2607	0.2471	0.2561	0.2343	0.2047
PA外ハイクロス	0.1798	0.1865	0.2041	0.2031	0.1978	0.2005	0.1791
PA外ロークロス	0.1764	0.2036	0.2004	0.2333	0.1987	0.1850	0.2091
他のパス	0.1532	0.1543	0.1798	0.1717	0.1679	0.1630	0.1579
ドリブル	0.1513	0.1416	0.1720	0.1751	0.1482	0.1426	0.1327
こぼれ	0.1968	0.1892	0.2227	0.2294	0.2162	0.1893	0.1714
その他	0.1546	0.1664	0.1903	0.1725	0.1692	0.1545	0.1300

リーグにより微妙な差異はあるが全体の傾向として同じクロスでもエリア外よりエリア内からのクロスからのシュートの方がより大きいチャンスとなっている。いわゆるニアゾーン（ポケット）を取ってから折り返すようなシチュエーションだ。

この場合のドリブルはドリブル選手本人がそのままシュートを放ったケースとなるが、ドリブルで進入した場合マーカーがおり且つキーパーもシュートコースを塞ぐ準備をするため、完全に抜き切った場合を除いては期待値としては低くなる。

WEで言うとPA外のクロスからの期待値が他国より少々低い。ここを上げるにはレシーバーのポジションの取り方やクロスの質を改善する必要がある。

## セットプレー攻撃

セットプレーによるシュート比率が少なかったためこちらでも少し触れよう。それぞれのセットプレーの数に対してシュート率を抽出分には、ロングスローを除いて特にWEリーグが低い傾向はなかった。シンプルにゴール前のセットプレー獲得数が少なめであることがサマリーに影響したと推測される。

コーナー	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
試合平均数	4.09	4.82	4.38	4.83	4.33	5.31	4.63
攻撃内でのゴール率	4.7%	3.4%	3.9%	5.0%	4.0%	3.7%	2.7%
(直接含む) シュート率	35.1%	32.2%	32.3%	35.4%	33.5%	34.1%	32.1%
5秒未満でロスト率	21.9%	21.7%	26.0%	22.7%	25.0%	20.3%	21.3%
フリーキック	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
試合平均数	0.91	1.38	1.24	1.60	1.24	1.39	1.54
攻撃内でのゴール率	5.8%	2.6%	3.3%	4.6%	3.8%	4.0%	2.6%
(直接含む) シュート率	29.9%	26.3%	29.9%	28.2%	27.2%	25.3%	29.4%
5秒未満でロスト率	25.5%	32.4%	28.5%	28.5%	28.4%	32.1%	27.7%
ロングスロー	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
試合平均数	0.30	0.17	0.13	0.39	0.29	0.57	0.46
攻撃内でのゴール率	2.2%	4.5%	3.9%	1.7%	0.0%	3.4%	0.6%
(直接含む) シュート率	7.4%	12.1%	29.4%	21.7%	11.9%	19.4%	22.4%
5秒未満でロスト率	47.8%	62.1%	33.3%	44.6%	43.3%	36.4%	24.7%
ペナルティキック	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
試合平均数	0.06	0.11	0.12	0.16	0.14	0.12	0.12
攻撃内でのゴール率	92.3%	88.6%	79.2%	83.3%	81.1%	79.1%	76.6%

# ゲームスタイル分析

## はじめに

今回の分析で扱えるSkillCornerのフィジカルデータは前後半のハーフ別のサマリーが最も細分化された値となり、フィジカルデータは試合展開≡ボールプレーにも影響されるため単純比較が難しい。少しでも状況を均一化した上で比較できるようにするため、Impectのデータからボールプレーに関する主要なスタッツをハーフ毎に集計した上でクラスタリング分析を行い、10ケースのハーフゲームスタイルに分類。その上でフィジカルデータを国別に比較する。

※試合内容の分類は無数にあると考えるが、今回はレポート上のまとめやすさを優先し10とする。

分類には以下のデータを利用する。すべて被データも含む

- 全体の攻撃回数、セットプレー攻撃回数、カウンター攻撃回数、自陣でのビルドアップ時間、自陣保持時の相手プレッシャー度平均、敵陣での保持時間

加えて以下のデータも利用する。

- 両チームのルーズボール奪取合計、両チームの空中戦合計

## 分類結果

分類された各クラスターの平均値は以下の通り。次頁にてそれぞれ解説する

	A	a	B	b	C	c	D	d	E	e
攻撃回数	65.45	58.87	66.16	61.12	69.40	66.26	69.45	66.76	65.47	64.00
相手攻撃回数	59.19	65.13	61.43	66.17	65.59	70.33	67.12	68.80	65.01	65.23
セットプレー攻撃回数	5.62	0.99	3.89	1.73	4.63	1.95	3.96	3.24	2.49	2.83
被セットプレー攻撃回数	1.02	5.69	1.82	4.09	1.84	4.82	3.19	3.81	3.06	2.61
カウンター攻撃回数	2.08	3.94	2.43	3.64	2.58	3.69	2.86	3.37	2.89	3.07
被カウンター攻撃回数	3.95	2.07	3.56	2.42	3.70	2.59	3.39	2.83	3.03	2.73
自陣ビルドアップ時間	376.31	332.91	586.24	333.65	380.29	367.99	384.03	296.62	542.59	383.07
相手の自陣ビルドアップ時間	330.15	367.73	331.56	561.09	387.69	357.84	290.31	398.41	399.03	580.55
自陣での被プレッシャー度	10.11	18.74	10.44	17.80	12.98	17.79	15.35	17.53	12.63	14.32
相手自陣でのプレッシャー度	18.95	9.96	17.30	10.58	17.28	13.46	17.96	15.03	13.99	11.83
敵陣保持時間	718.91	102.62	409.62	161.80	458.15	181.16	309.31	245.92	250.26	279.45
自陣での相手の保持時間	106.11	731.55	171.42	445.06	178.04	457.19	240.93	300.12	302.90	261.48
ルーズボール奪取合計	71.20	70.64	71.81	72.10	77.80	79.71	81.11	79.89	72.69	71.47
空中戦合計	9.02	8.82	9.02	9.06	10.43	11.05	12.31	12.01	8.90	8.70

## 分類結果

分類されたゲームスタイルを各データの平均値から説明すると下記のようなになる

- A** 敵陣で圧倒的に保持ができ、相手にカウンター以外ほぼ攻撃を許していない
- a** 自陣で相手に圧倒的に保持され、ほぼカウンター攻撃のみ
- B** 敵陣でも保持するが、特に自陣での時間が長い
- b** 敵陣で相手に保持される時間が長く、自陣でも保持される傾向
- C** 自陣での保持時間は相手と同じくらいだが、敵陣での保持が長い。攻撃の切替が多め
- c** 自陣での保持時間は相手と同じくらいだが、敵陣での保持が短い。攻撃の切替が多め
- D** わずかに保持は上回るがほぼ同数。ルーズボール、攻撃の切替が多めで、お互いセットプレー攻撃を得る
- d** わずかに保持は下回るがほぼ同数。ルーズボール、攻撃の切替が多めで、お互いセットプレー攻撃を得る
- E** お互いプレッシャーが低めで自陣での保持が上回る
- e** お互いプレッシャーが低めで自陣での保持が下回る

※分かりやすく対比的にまとめたが、例えば(C)の相手が(c)に判定されるとは限らないので注意。

## 分類結果

各国のハーフゲームがどのように分類されたかをまとめた。

全体

	Japan	England	France	Germany	Spain	Sweden	USA
<b>A</b>	2.5%	4.4%	7.1%	5.2%	9.0%	3.6%	0.4%
<b>a</b>	2.1%	3.7%	6.4%	4.6%	8.5%	3.2%	0.4%
<b>B</b>	7.9%	13.1%	11.4%	12.7%	8.1%	8.0%	7.9%
<b>b</b>	7.3%	13.2%	11.4%	11.2%	7.7%	7.5%	7.1%
<b>C</b>	14.7%	13.2%	11.3%	8.3%	10.4%	15.3%	9.7%
<b>c</b>	13.0%	11.5%	9.4%	7.6%	10.7%	14.9%	8.3%
<b>D</b>	14.8%	7.6%	10.0%	13.8%	15.7%	13.3%	18.8%
<b>d</b>	13.8%	8.4%	10.4%	13.6%	15.7%	12.4%	21.2%
<b>E</b>	13.4%	12.4%	11.9%	11.9%	7.2%	12.2%	14.4%
<b>e</b>	10.4%	12.4%	10.8%	11.2%	6.9%	9.7%	11.8%

(A)(a)はいわゆるハーフコートゲーム状態で、こういった試合展開はスペインに偏っている。

互角の試合は(C)(c)(D)(d)(E)(e)に分類されやすいためこれらが多くなるが、イングランド、フランス、ドイツでは保持率に差がある(B)(b)辺りも多い。

## スタイル毎のハイインテンシティ

分類毎にフィジカルデータを見ていくが、ハーフで分類しているためフィジカルデータもハーフ毎に30分以上出場している選手に対して45分換算をした数値で分析する。（そのためサマリーより高くなる）

諸外国	A	a	B	b	C	c	D	d	E	e
総移動距離45分換算 (m)	5011	4972	5032	5099	4976	4970	4839	4863	5037	5047
ハイインテンシティ率	4.6%	4.0%	4.8%	4.6%	5.0%	4.7%	5.1%	5.1%	4.8%	4.8%
保持時ハイインテンシティ率	4.6%	6.0%	5.1%	6.1%	5.8%	5.9%	6.2%	6.6%	5.3%	6.0%
相手保持時ハイインテンシティ率	8.3%	4.4%	7.7%	5.6%	7.5%	6.4%	8.0%	7.1%	6.8%	6.1%

WEリーグ	A	a	B	b	C	c	D	d	E	e
総移動距離45分換算 (m)	5155	5498	5152	5200	5115	5109	4866	4946	5160	5209
ハイインテンシティ率	3.6%	3.8%	3.8%	3.8%	3.9%	4.0%	4.0%	3.9%	3.8%	3.9%
保持時ハイインテンシティ率	3.5%	5.3%	4.1%	5.1%	4.6%	4.8%	5.1%	5.2%	4.2%	4.7%
相手保持時ハイインテンシティ率	5.8%	4.1%	5.4%	4.5%	5.6%	5.3%	6.0%	5.4%	5.0%	4.8%

分類毎に大きくハイインテンシティ率が変わることはなさそうだが、(a)のようにひたすら相手に押し込まれている状況だと全体的に低い数値となり、逆に(D)(d)はどちらも高い率となっている。

全体的にWEリーグのハイインテンシティ率はゲームスタイルで分類してもやはり低くなるのだが、ハーフコートゲーム状態の(a)に関してのみ他国と近い数値となった。

## スタイル毎のポジション別傾向

こういった部分でWEリーグのフィジカルデータが不足しているのかできる限り掘り下げるために、ゲーム分類別にポジション別調査する。

WEリーグの平均値とWEリーグ以外の平均値を比較した差分をデータ毎にまとめた。分類はWEリーグに多かった(C)(c)(D)(d)(E)(e)のみとしている。

保持時 ハイインテンシティ率差分		C	c	D	d	E	e
	Center Forward	-1.7%	-1.6%	-2.2%	-3.6%	-2.4%	-2.6%
	Wide Attacker	-2.1%	-2.7%	-2.0%	-2.3%	-1.9%	-3.0%
	Midfield	-0.6%	-0.9%	-1.0%	-1.0%	-0.9%	-0.9%
	Full Back	-1.7%	-2.2%	-1.5%	-1.4%	-1.5%	-1.3%
	Central Defender	-0.6%	-0.1%	-0.5%	-0.6%	-0.5%	-0.4%

マイナスが他国より低いという見方になる。

差分が目立つのはCF、ワイド、フルバック。その中でも(c)(d)(e)のマイナスが大きいため、相手の保持時間の方が長い展開における保持時のハイインテンシティ率が低いと言える。

保持の時間が限定されている中で前線、サイドの選手が局面を変えるような高速走行ができていない傾向にある。

スタイル毎のポジション別傾向

保持時 加速数45分換算差分		C	c	D	d	E	e
	Center Forward	-0.3	-0.1	0.0	-0.1	0.0	-0.8
	Wide Attacker	0.2	-1.9	-0.4	-0.6	0.6	-0.8
	Midfield	0.2	-0.7	-0.5	-1.2	0.8	-1.2
	Full Back	-0.1	-1.8	-1.1	-0.8	0.0	-1.3
	Central Defender	-2.2	-2.5	-2.2	-1.5	-2.4	-2.4
保持時 方向転換45分換算差分		C	c	D	d	E	e
	Center Forward	-0.3	-0.3	-0.4	-0.6	0.0	-0.6
	Wide Attacker	0.8	-0.3	-0.7	-0.9	-0.2	-0.4
	Midfield	0.1	-0.3	-0.4	-0.7	-0.3	-0.5
	Full Back	-0.2	-0.7	-0.2	-0.8	-0.4	-0.6
	Central Defender	-0.1	-0.1	-0.6	-0.6	-0.4	-0.4

加速の回数は元々他国と差分がなかったが、このデータで見るとセントラルDFだけ不足が大きい。ここはフィジカルデータの詳細を見ないと断定できないが、加速はセットプレー攻撃の有無も影響するという点と、丁寧なビルドアップが少ないWEリーグではこのポジションの選手が動き直すシチュエーションが少なくなる点が推測されるので、今のところそこまで気にしなくて良いかもしれない。

保持時の方向転換はスペースを作るという点においては重要な動きと言える。ただし闇雲に動けば良いというものではない点は留意する必要がある。

スタイル毎のポジション別傾向

相手保持時 ハイインテンシティ率差分		C	c	D	d	E	e
Center Forward		-1.9%	-0.5%	-2.3%	-1.3%	-1.3%	-0.8%
Wide Attacker		-1.3%	-1.0%	-1.4%	-1.3%	-1.3%	-1.1%
Midfield		-1.7%	-1.0%	-1.9%	-1.7%	-1.6%	-1.1%
Full Back		-2.3%	-2.2%	-2.4%	-2.2%	-2.5%	-1.9%
Central Defender		-2.5%	-0.7%	-2.6%	-2.0%	-2.3%	-1.8%

変わって、相手保持時ハイインテンシティ率の差分だ。(c)を除いて、保持時に比べてどのポジションもマイナスが強めだが、特にフルバックに集中している。このポジションの場合、攻めに出ていなければ急いで戻るシチュエーションも起きないため、保持時の低さがそのままこちらにも影響したとも考えられる。一方でセントラルDFも低いため、ラインのアップダウンのスピードも関係している可能性がある。

(C)(D)においてはCFも低い傾向がある。この2種はどちらかというと保持ができている展開となるが、そういった展開での相手保持時で走っているかどうかという差分となる。

## スタイル毎のポジション別傾向

相手保持時 加速数45分換算差分		C	c	D	d	E	e
	Center Forward	-0.3	0.9	-0.6	-0.5	0.8	2.0
	Wide Attacker	1.1	2.6	0.1	0.7	0.8	3.0
	Midfield	0.5	0.6	-0.4	-0.5	1.1	0.0
	Full Back	0.4	0.4	-0.5	-0.6	0.0	-0.5
	Central Defender	0.3	0.7	-0.9	0.2	-0.1	-0.6
相手保持時 方向転換45分換算差分		C	c	D	d	E	e
	Center Forward	-1.2	1.5	-0.9	0.3	0.1	0.7
	Wide Attacker	1.1	1.3	0.1	0.3	0.0	2.3
	Midfield	0.1	1.0	-0.6	-0.5	0.1	0.7
	Full Back	0.2	-0.2	-0.8	-0.1	0.2	0.0
	Central Defender	0.2	0.2	-0.7	-0.2	0.2	0.2

どちらかという他国より数値が大きい方が目立っており、特にワイドアタッカーの差分が目立つ。WEリーグはワイドアタッカーの細かい局面における守備意識が高い可能性がある。

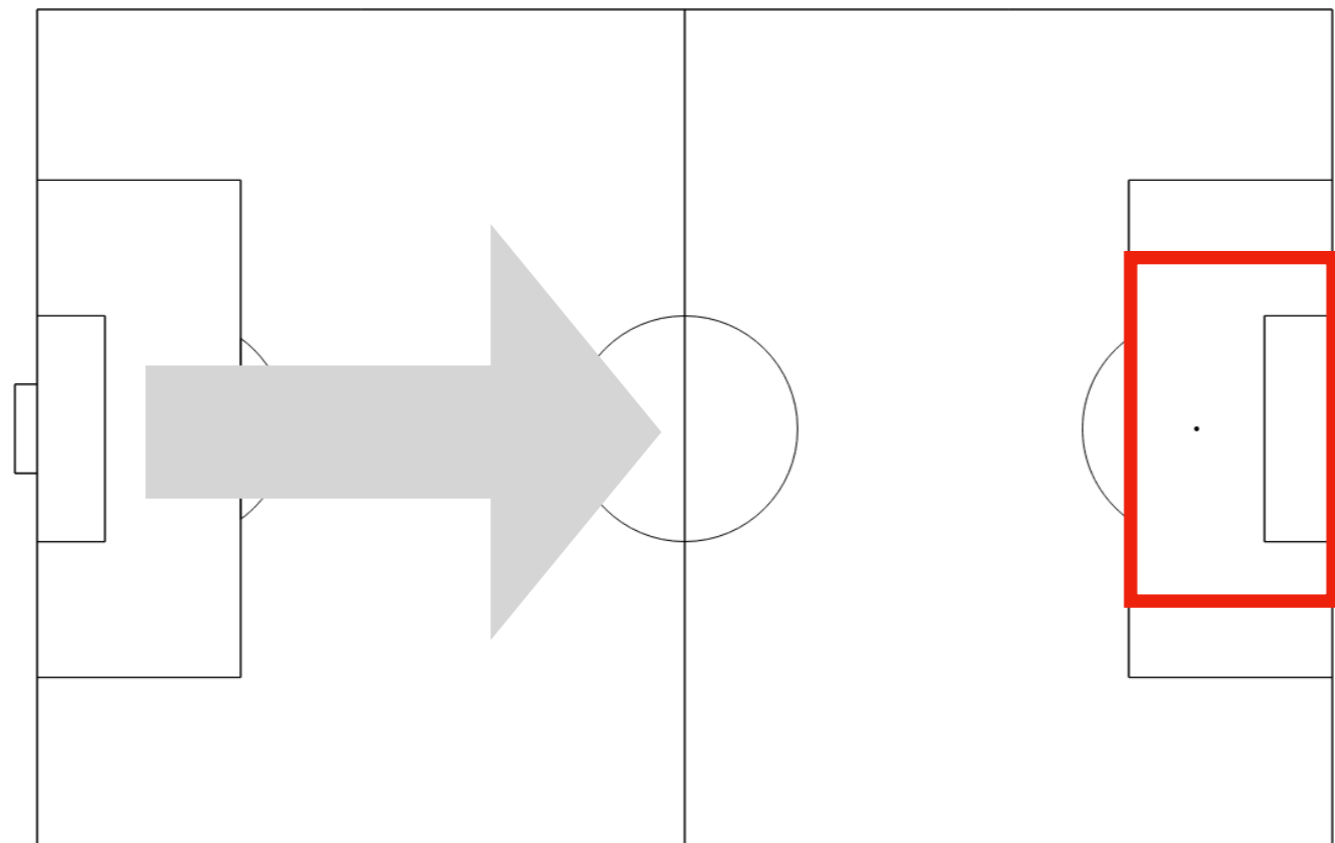
唯一(D)だけは低くなり、ここは保持時と同じ傾向と言える。

# データ定義の説明

## 1. ロングスロー

Impectのデータに存在しないため、Impectのデータから「ロングスロー」区分を作成。

スローインの到達位置が下図ペナルティエリア赤枠エリアで、Impectデータ上のゴール方向の相手人数が10人以上のケースを「ロングスロー」とする。



## 2. セットプレー攻撃

本体セットプレーは、ペナルティキック、フリーキック、コーナーキック、ゴールキック、スローイン、キックオフを指すが、相手のペナルティエリア近辺に密集するケースとそうではないケースでは守備陣形が異なる。特にシュートやシュート前の分析等で扱う場合はこの違いを明確にするため、前者をセットプレー攻撃として取り扱う。この区分はImpectには存在しないため、Impectのデータから作成。

- ペナルティキック、コーナーキック、前頁のロングスロー
- ゴール方向の相手人数が10人以上のアタッキングサードでのフリーキック

イベントデータ単位で集計する場合、同攻撃から10秒以上経過したイベントはセットプレー攻撃とはしない。

## 3. カウンター攻撃

カウンター攻撃は言葉としては一般的だが、言葉と実際のプレーシーンを割り当てようとする方によって判断が揺れることが多い。セットプレー同様こちらも状況によっては守備陣形が異なり、場合によってはフィジカルデータにも影響すると考えられるため区分設定を行った。

Impectのデータには存在しないため、Impectのデータから「カウンター」を作成。

- セットプレー攻撃の10秒間後、5秒未満でボールを奪った場合。ただしキーパーのキャッチの場合は5秒以内にリリースしたものに限る
- ファーストサードでゴール方向の相手人数が6人未満で始まったボール奪取による攻撃
- ミドルサードでゴール方向の相手人数が5人未満で始まったボール奪取による攻撃